

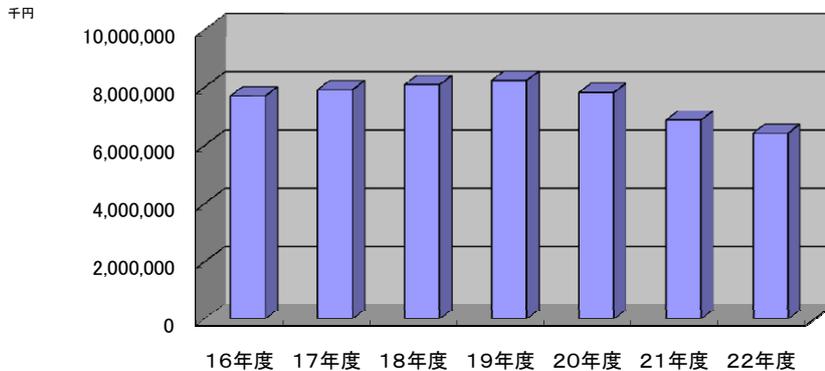
平成22年度上川町予算

平成22年度の当初予算の概要についてお知らせをします。

上川町の平成22年度の予算額は、一般会計予算は、42億5,800万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」を合わせ、64億3,125万1千円（前年度予算比較 4億4,902万9千円減、6.5%減）となりました。

町全体の予算規模の推移としては、土地区画整理事業やその関連事業としてのまちづくり交付金事業の実施などにより、平成16年度以降年々上昇をしてきたところですが、平成19年度をピークに、3年連続で前年度予算に比較し減少しています。平成22年度予算は町立病院事業の廃止、土地区画整理事業や公共下水道事業の事業の縮小により、前年度と比べ減少することとなりました。

予算規模の推移



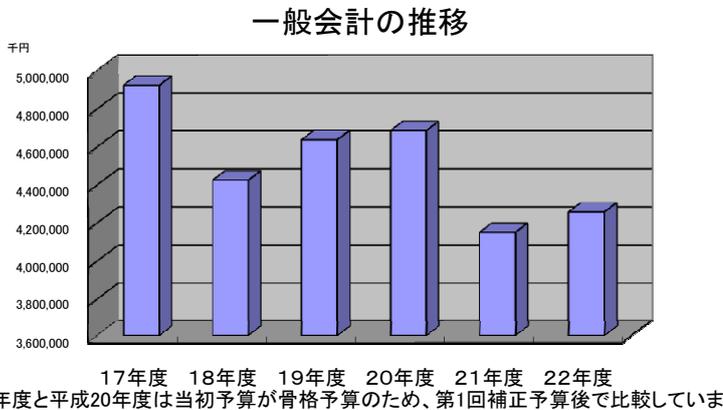
平成22年度上川町予算総括表

会計名	平成22年度予算額	平成21年度予算額	比較
一般会計	42億5,800万円	41億5,100万円	1億700万円
特別会計合計	19億6,769万円	18億5,920万円	1億819万円
国民健康保険事業特別会計	5億5,797万1千円	5億5,846万4千円	△ 49万3千円
老人保健事業特別会計	9万4千円	652万2千円	△ 642万8千円
後期高齢者医療事業特別会計	5,415万6千円	5,334万2千円	81万4千円
介護保険事業特別会計	4億5,824万円	3億9,131万2千円	6,692万8千円
町立診療所事業特別会計	3億2,157万3千円	0千円	3億2,157万3千円
介護老人保健施設事業特別会計	1億4,327万9千円	0千円	1億4,327万9千円
土地区画整理事業特別会計	1億1,036万6千円	3億6,074万1千円	△ 2億5,037万5千円
公共下水道事業特別会計	3億2,171万1千円	4億8,881万9千円	△ 1億6,710万8千円
企業会計合計	2億586万1千円	9億7,849万5千円	△ 6億6,421万9千円
水道事業会計	2億586万1千円	1億8,425万3千円	△ 2,160万8千円
町立病院事業会計	0千円	6億8,582万7千円	△ 6億8,582万7千円
合計	64億3,125万1千円	68億8,028万円	△ 4億4,902万9千円

一般会計予算の特徴

一般会計予算の総額は42億5,800万円となり、前年度予算に比べ1億700万円、2.6%の増となりました。増額となった大きな原因は、平成21年9月30日で町立病院事業を廃止したことに伴い、町立病院事業に対する補助金2億7,849万7千円が減額となりましたが、町立診療所事業及び介護老人保健施設事業への繰出金で1億4,200万円、旭ヶ丘地区活性化事業として地域資源活用交流促進施設の建設などで1億3,780万2千円や人件費において、平成22年度が退職手当組合負担金の3年ごとの精算年にあたり、この間、多くの退職者が多ったこともあり、清算金が6,774万円と多額になったほか、人件費総体1億713万5千円の増となったのが大きな要因となっています。

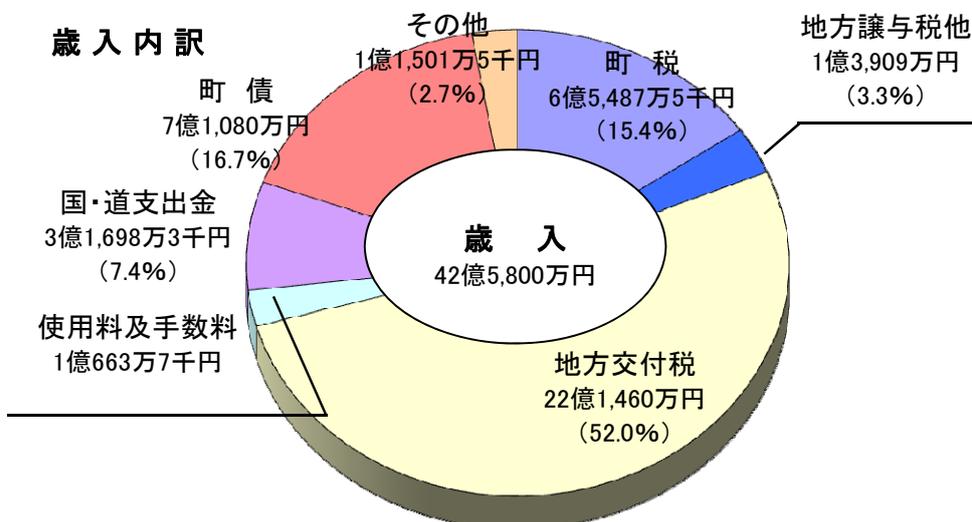
ことしは、旭ヶ丘地区活性化事業として地域資源活用交流促進施設の建設等、平成20年度、平成21年度に引き続き「とくとく商品券（プレミアム15%）」に対する補助や層雲峡温泉感謝祭に対する補助の実施、高規格救急車の購入、姉妹友好提携25周年を記念したカナダ・ロッキーマウンテンハウス町への訪問事業などを実施していきます。しかし、各公共施設の老朽化等により、施設改修費等の支出も増えてきていることから、「行政改革大綱推進計画」に留意し、財政運営の安定化のため、人件費、物件費の経費削減を行い、効率的な予算の執行に努めていきます。



一般会計とは

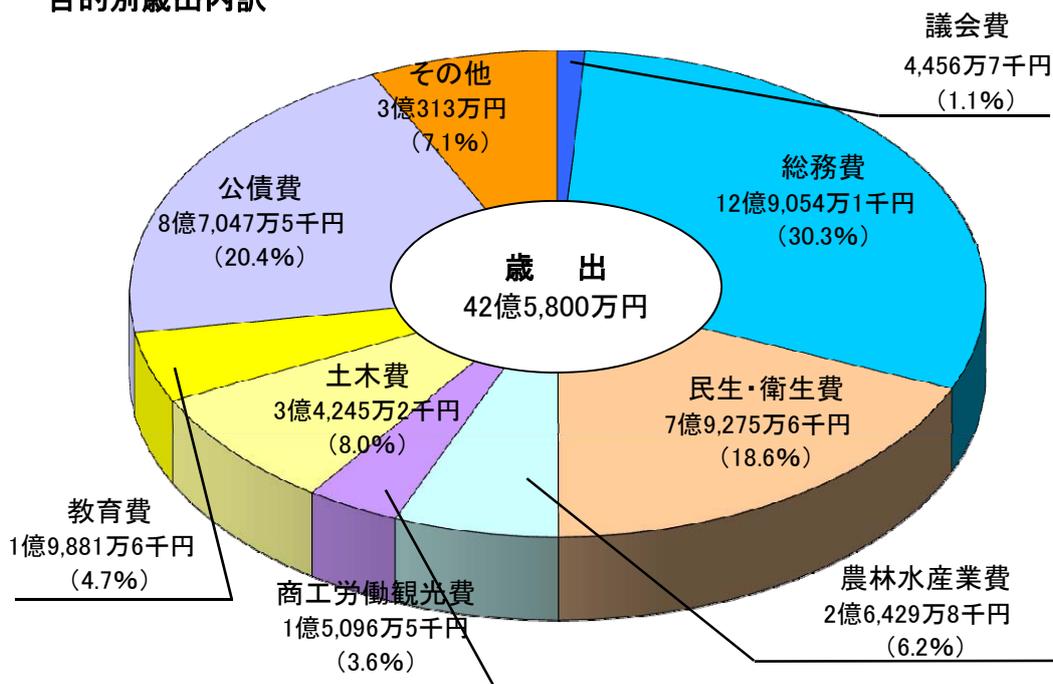
通常、上川町の予算というと、この一般会計のことを言います。一般会計とは、町の行政サービスの基本的な経費を計上している会計で、福祉や教育、道路の整備、産業の振興などさまざまな分野の仕事を行うための会計です。主な収入は、町税や国、道の支出金のほか地方交付税などです。

歳入では、町税では、個人町民税が昨年の天候不順が影響して農業所得で大きな落ち込みがみられることから、前年度予算比較では9.5%減、景気低迷の中、大幅な観光客の減少により法人町民税（前年度予算比較15.4%減）、入湯税（同8.2%減）、町たばこ税（同7.8%減）で大きく落ち込み、全体では前年度予算比較で2.9%の減となっています。地方交付税は、普通交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な交付額を前年度予算比較8.0%増で見込んでいます。国・道支出金は子ども手当交付金の増などにより16.7%増、町債（臨時財政対策債除く。）は、旭ヶ丘地区活性化事業などにより11.1%増額となっています。

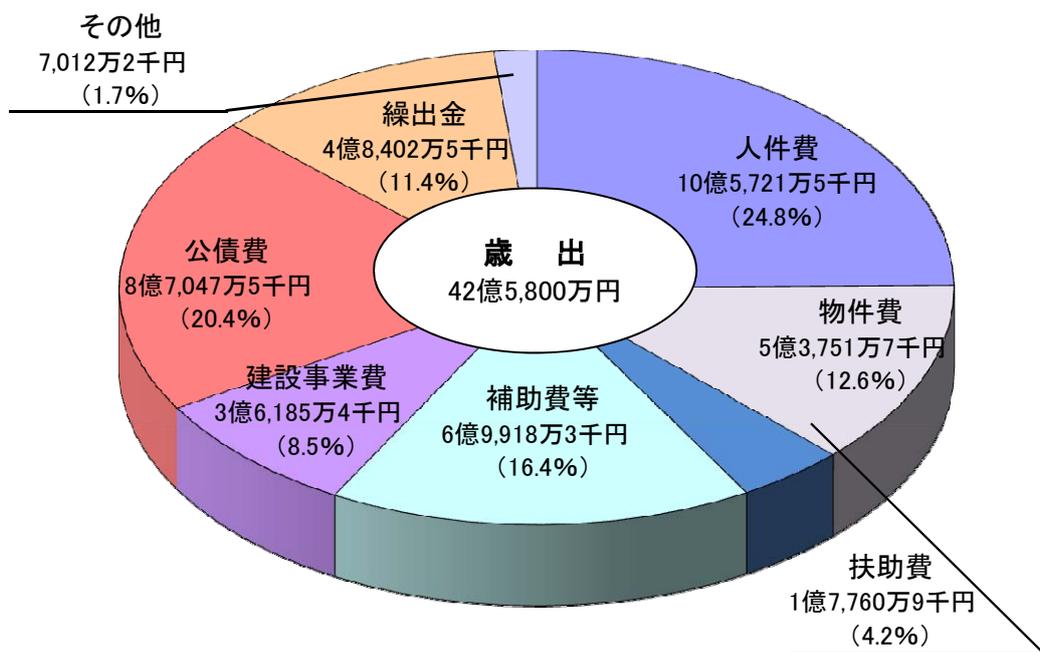


歳出では、人件費が退職手当負担金の精算金 建設補助事業対象の人件費の減による人件費の増、共済掛金の率のアップなどにより11.3%の増、物件費は建設補助事業対象経費の減による影響で1.2%の増、扶助費は子ども手当の創設などにより19.1%の増、建設事業費は旭ヶ丘活性化事業の実施などにより29.1%の増、また、補助費等は町立病院事業会計の廃止に伴い、町立病院事業会への補助金の減などにより27.9%の減、公債費は町立病院事業会計の地方費を引き継いだことなどにより11.6%の増、繰出金では新たに設置をした町立診療所特別会計と介護老人保健施設事業特別会計への繰出金の増により22.3%の増となっています。

目的別歳出内訳



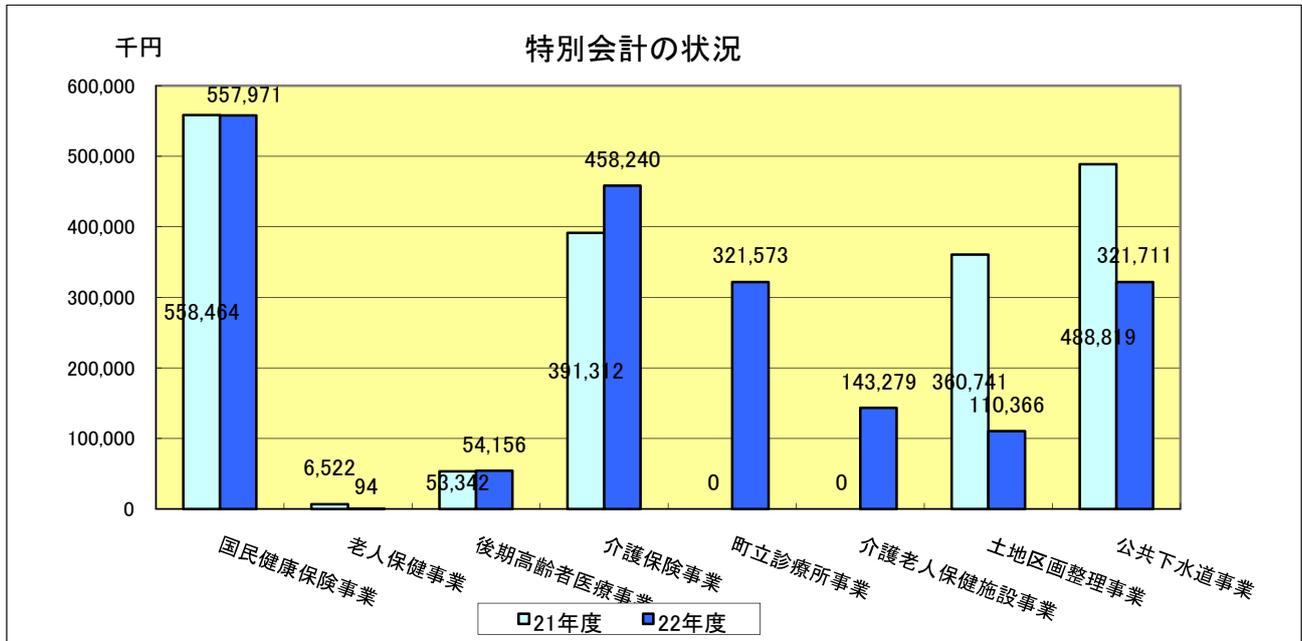
性質別歳出内訳



特別会計予算の特徴

平成21年10月1日から新たに国民健康保険上川町立診療所事業と介護老人保健施設事業の2つの特別会計が加わり、上川町の特別会計は、全部で8つになりました。

特別会計の予算総額は19億6,739万円で前年度予算額に比べ、1億819万円、5.8%の増額となりました。増額の主な要因は、新たに国民健康保険上川町立診療所事業と介護老人保健施設事業の2つの特別会計が加わったことが大きな要因です。一方で、土地区画整理事業(69.4%減)と公共下水道事業(34.2%減)において事業費が大きく減少しています。



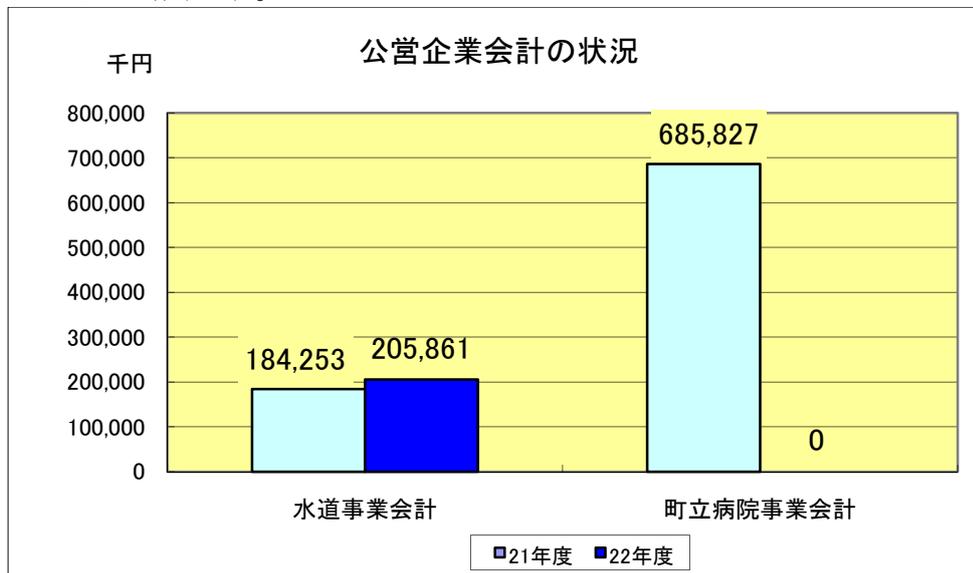
特別会計とは

特別会計とは、特定の目的のための会計で、国民健康保険税などの特定の収入があり、一般会計とは区分し、収入・支出を処理する会計です。

公営企業会計予算の特徴

上川町には、水道事業と病院事業の2つ公営企業会計がありましたが、平成21年9月30日で病院事業会計が廃止となり、水道事業のみとなりました。

企業会計の予算総額は、2億586万1千円で前年度当初予算額と比べ、6億6,421万9千円、76.3%の減額となりました。減少の主な要因としては、町立病院事業会計が廃止となったことが大きな要因です。



企業会計とは

公営企業は、主にその事業の収益で経費を賄って運営している事業の会計をいいます。

積立金現在高（一般会計）

平成21年度末の積立金の現在高見込は、7億7,194万4千円で、平成22年度末の見込額は、各目的基金の一般会計への繰入などの結果、7億5,429万6千円で、平成21年度末から1,764万8千円の減額となる見込みです。

基金名		平成21年度末見込額	平成22年度末見込額	比較
財政調整基金		3億593万7千円	3億622万4千円	28万7千円
減債基金		3億2,560万5千円	3億1,895万2千円	△ 665万3千円
その他 特定目的 基金	ふるさと創生基金	754万6千円	604万9千円	△ 149万7千円
	地域福祉基金	7,937万9千円	6,857万5千円	△ 1,080万4千円
	公共施設整備基金	5,007万1千円	5,136万8千円	129万7千円
	ふるさと応援基金	340万6千円	312万8千円	△ 27万8千円
計		7億7,194万4千円	7億5,429万6千円	△ 1,764万8千円

※財政調整基金～予期しない収入の減少や不時の歳出増加などに備え、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源の余裕のある年度に積み立てるお金です。

※減債基金～公債費の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられているものです。

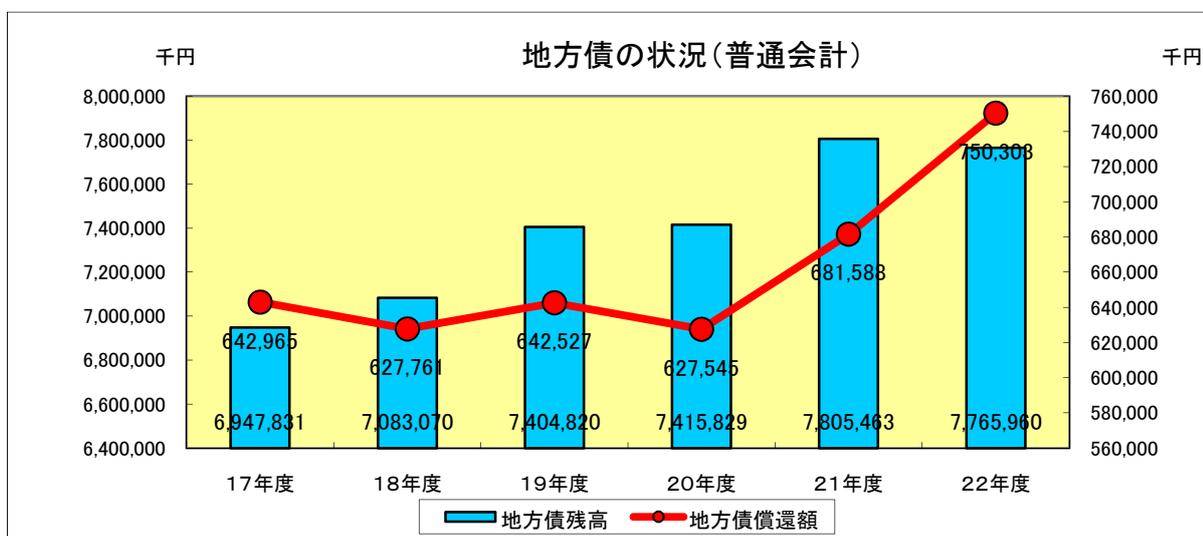
※その他特定目的基金～特定の目的のため資金を積み立てるものです。

地方債現在高の状況

自治体の予算では、その年度に使うお金は、その年度の収入で賄うことを基本としていますが、その年度の収入では多額の費用がかかる公共事業などを行うことがむずかしくなりますので、自治体でも必要な資金を借り入れることができる制度が設けられています。この制度が地方債です。道路や学校などの施設整備は、その恩恵を現在の住民ばかりでなく、世代を超えて長く受ける施設です。世代間の負担を公平にするという意味でも、地方債の発行による資金確保を行っています。

平成21年度末の地方債の現在高見込は、全ての会計をあわせて103億1,279万1千円で、平成22年度末の見込額は、平成21年度中の返済や旭ヶ丘活性化事業などに伴う借り入れなどにより、102億7,089万7千円で、平成21年度末から4,189万4千円の減額となる見込みです。

基金名	平成21年度末見込額	平成22年度末見込額	比較
一般会計	77億8,386万3千円	77億4,450万3千円	△ 3,936万円
土地区画整理事業特別会計	2,160万円	2,145万7千円	△ 14万3千円
公共下水道事業特別会計	21億3,124万8千円	21億978万4千円	△ 2,146万4千円
水道事業会計	3億7,608万円	3億9,515万3千円	1,907万3千円
計	103億1,279万1千円	102億7,089万7千円	△ 4,189万4千円



事業別の予算説明

ことは、「第9次上川町総合計画」の第3年次目になります。「第9次上川町総合計画」の基本理念「一人ひとりが主役のまちづくり」、「心の豊かさを追求するまちづくり」、「広域的な視野に立ったまちづくり」に基づき、『自然と調和した未来“小さくても「夢・希望・誇り」に満ちた上川」』をめざしたまちづくりを推進していきます。「第9次上川町総合計画」の6つのまちづくり大綱の区分により一般会計の事業内容をご紹介します。

説明書の見方

「第9次上川町総合計画」のまちづくり大綱
 「第9次上川町総合計画」の基本目標
 22年度予算額
 前年度予算額

1. 健やかで心ふれあうまちづくり

(1) 保健対策の充実

● 予防接種事業 **事業名** 保健福祉課健康増進グループ 246万円 (205万円) ○

事業内容 感染症の予防や流行を防ぐため、3種混合、風疹・麻疹、ポリオワクチンなどの予防接種を行います。

事業に係る財源の内訳

財源内訳	
インフルエンザ予防接種国保負担金	32万円
町の一般財源	214万円

前年度予算との比較

※ 前年度予算との比較については、○=前年度より増額、◇=前年度同額、▲=前年度より減額、☆=新規事業 ▼=事業廃止です。

1. 健やかで心ふれあうまちづくり 5億9,724万円 (6億9,344万円) ▲

町に暮らす人々の健康や、生涯を通じた福祉支援体制を確保し、だれもが安心して、やすらぎのある生活を送れることが、住み良いまちづくりの条件です。日々の生活を通じた健康づくり、生きがいを支援していきます。

また、保健・医療・福祉サービスの充実に努め、良質で均一なサービス提供体制の向上を図り、一人ひとりがいやいやを持って、互いにささえあうまちづくりを進めていきます。

(1) 保健対策の充実 2,223万円 (2,153万円) ○

町民が生涯にわたり心身ともに健康で安心して生活を送っていくためには、町民一人ひとりが自らの健康管理の大切さを理解し、関心を持つことが重要です。

そのために生活習慣病予防に主眼を置いた特定健診・特定保健指導の円滑な実施に努め、保健サービス対策として、がん検診、健康相談、健康教育、訪問指導、栄養指導など町民の健康づくり事業の推進に取り組んでいきます。また、妊婦健診の充実、妊娠婦・乳幼児等の母子保健の推進に努め、新型インフルエンザ対策など予防接種事業の充実も図っていきます。

● 福祉会館管理経費 保健福祉課健康増進グループ 1,042万円 (834万円) ○

平成22年度当初予算書ページ：68・69

福祉会館(保健センター)の燃料費や施設管理委託などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
道からの補助金	3万円
福祉会館使用料	13万円
町の一般財源	1,026万円

● 各種がん検診事業 保健福祉課健康増進グループ 329万円 (318万円) ○

平成22年度当初予算書ページ：68・69

がんの早期発見と早期治療ため胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳房がんや前立腺がんの検診を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	20万円
後期高齢者医療広域連合からの補助金	10万円
町の一般財源	284万円

●予防接種事業

保健福祉課健康増進グループ 278万円 (244万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：68・69

感染症の予防や流行を防ぐため、インフルエンザ、3種混合、風疹・麻疹、ポリオワクチンなどの予防接種を行う事業です。

財源内訳	
道からの補助金	27万円
インフルエンザ予防接種国保負担金	30万円
町の一般財源	221万円



●妊婦健診

保健福祉課健康増進グループ 185万円 (185万円) ◇
 平成22年度当初予算書ページ：68・69

母胎と胎児の健康を維持するため、妊婦健診の助成（14回分）を行う事業です。

財源内訳	
道からの補助金	50万円
地域福祉基金からの繰入金	60万円
町の一般財源	90万円



●その他保健対策事業

乳幼児健診事業	保健福祉課健康増進グループ	55万円	(60万円)	▲
健康検診事業	保健福祉課健康増進グループ	39万円	(7万円)	○
肝炎ウイルス検査事業	保健福祉課健康増進グループ	23万円	(35万円)	▲
狂犬病予防接種事業	税務住民課住民グループ	7万円	(6万円)	○
保健推進委員協議会事業	保健福祉課健康増進グループ	3万円	(3万円)	◇
エキノコックス血清検査事業	保健福祉課健康増進グループ	3万円	(3万円)	◇
保健事業関係経費	保健福祉課健康増進グループ	259万円	(458万円)	▲

(2) 医療及び介護施設の充実

1億4,200万円 (2億7,850万円) ▲

昨年4月から診療業務を北海道家庭医療学センターに委託し、3名の医師により内科・小児科を中心に幅広い診療と時間外診療や救急診療も24時間体制で行っています。10月からは医療の安定提供及び経営の健全化のため、病院から有床の診療所と介護療養型老人保健施設へと転換を行ったところです。

今後も町民の「かかりつけ医」、「介護施設」としての役割を担うとともに、地域保健活動と連携し、医療及び介護環境の充実に努めていきます。

●国民健康保険町立診療所特別会計繰出金

上川医療センター 1億2,500万円 (0万円) ☆
 平成22年度当初予算書ページ：68・69

町立診療所を運営していくための町からの繰出金です。ことしの町立診療所事業では、健康診断システムの導入や臨床検査システムの更新などを行います。

財源内訳	
道からの補助金	2,445万円
町の一般財源	1億0,055万円



●介護老人保健施設事業特別会計繰出金

上川医療センター 1,700万円 (0万円) ☆
 平成22年度当初予算書ページ：58・59

町立診療所に併設をする介護老人福祉施設を運営していくための町からの繰出金です。

財源内訳	
道からの補助金	923万円
町の一般財源	777万円

病院事業会計補助金	上川医療センター	0万円	(2億7,850万円)	▲
-----------	----------	-----	-------------	---

(3) 地域福祉の充実

700万円 (690万円) ○

加速する少子高齢化により、家庭や社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、地域福祉に対するニーズが多様化し、地域社会における相互扶助の充実と生活基盤の確立が強く求められています。

町内自治会を中心とした小地域ネットワークの充実を図り、心のふれあう温かい地域社会を築くために、住民ニーズに沿った福祉活動を推進していきます。また、地域福祉の担い手である福祉関係団体との連携を強化し、併せて必要な支援に努めていきます。

- **福祉灯油助成事業** 保健福祉課介護福祉^{グループ} 247万円 (243万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：54・55

冬期間の生活に影響を及ぼす灯油価格の変動が、低所得世帯の家計を圧迫する状況になっていることから、その経済的負担を軽減するため、灯油購入に係る費用の一部(800分)を助成する事業です。

財源内訳	
道からの補助金	50万円
町の一般財源	197万円

- **民生委員児童委員協議会活動事業** 保健福祉課介護福祉^{グループ} 236万円 (236万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：54・55

地域の身近な相談員として活動をしている民生委員・児童委員の研修等の活動を支援するため、協議会に対し交付金を交付する事業です。

財源内訳	
道の負担金	155万円
町の一般財源	81万円

- **社会福祉協議会運営費事業** 保健福祉課介護福祉^{グループ} 125万円 (125万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：54・55

安心して暮らせるまちづくりのため、地域に根ざした福祉活動を推進する社会福祉協議会に対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	125万円

● **その他地域福祉事業**

民間在宅福祉支援事業	保健福祉課介護福祉 ^{グループ}	57万円	(57万円) ◇
社会福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉 ^{グループ}	26万円	(20万円) ○
戦没者慰霊追悼式事業	保健福祉課介護福祉 ^{グループ}	6万円	(6万円) ◇
遺族会運営費事業	保健福祉課介護福祉 ^{グループ}	3万円	(3万円) ◇

(4) 子育て環境の充実 9,589万円 (6,683万円) ○

急速に進行する少子化の流れを緩和し、少しでも子どもを産み育てやすい環境を整えるために、情報提供や相談体制の充実を図り、「上川町次世代育成支援対策推進行動計画」に基づき、国や道と連携を図りながら、実効性のある子育て支援策を推進していきます。

また、社会問題となっている児童虐待など子どもの育成に関わる多種多様な課題については、関係者と連携を図り、適切かつ迅速に各種課題の解消に努めていきます。

保育サービスは、中央保育所を中心に子育て支援センターと連動し、育児や子育ての支援に努めていきます。

- **子ども手当事業** 保健福祉課介護福祉^{グループ} 4,344万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：64・65

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、国が平成22年度から実施をする子ども手当の事業費です。支給対象は中学校修了前の子どもの保護者で、平成22年度の支給額は月1万3千円で、支給は6月分からとなります。

財源内訳	
国の負担金	3,308万円
道の負担金	518万円
町の一般財源	518万円

- **保育所関係経費** 中央保育所 3,451万円 (2,890万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：64・65

保護者等が仕事などにより、家庭で保育できない乳児・幼児を保育する保育所の運営経費です。

財源内訳	
保育料	724万円
道からの補助金	42万円
給食材料費職員負担分など	83万円
町の一般財源	2,602万円



●乳幼児医療費助成事業

保健福祉課医療給付グループ 500万円 (537万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：56・57

乳幼児の健やかな成長と保健の向上のため、小学校修学前の乳幼児に対し医療費の一部を助成する事業です。(入院については小学生終了までの助成です。所得制限などの要件があります。)

財源内訳	
道からの補助金	188万円
高額医療費の医療保険者負担分	5万円
町の一般財源	307万円



●児童手当事業

保健福祉課介護福祉グループ 372万円 (2,351万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：64・65

家庭における生活の安定と児童の健全な育成に役立てるため、小学校6年生までの児童を養育している保護者に手当を支給する事業です。この手当は、子ども手当の創設に伴い、平成22年5月までの支給となっています。

財源内訳	
国の負担金	157万円
道の負担金	107万円
町の一般財源	108万円

●ひとり親家庭等医療費助成事業

保健福祉課医療給付グループ 265万円 (253万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：56・57

ひとり親家庭の生活安定と保健の向上のため、ひとり親家庭などの母や父と児童に対し医療費の一部を助成する事業です。(所得制限などの要件があります。)

財源内訳	
道からの補助金	92万円
高額医療費の医療保険者負担分	8万円
町の一般財源	165万円

●母子通園センター設置事業

保健福祉課介護福祉グループ 256万円 (252万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：64・65

発達に不安や心配がある子どもに対し、子どもの発達に合わせた遊びを中心に療育を行い、成長を促すため設置されている母子通園センター(当麻町)の運営経費に対する負担を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	256万円

●支援センター事業

中央保育所 195万円 (275万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：64・65

子育てに対する情報の提供、相談や豊かな子育てをするための事業を行うため、子育て支援センターを開設し、運営する事業です。

財源内訳	
道からの補助金	130万円
ふるさと応援基金からの繰入金	2万円
町の一般財源	63万円

●出産祝金

保健福祉課介護福祉グループ 180万円 (100万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：64・65

次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るため、3人目の子どもから、出産時・小学校入学時・中学校入学時に祝金を支給する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	180万円

●その他子育て環境事業

母子通園センター通所交通費助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	16万円	(15万円) ○
児童福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	10万円	(10万円) ◇

(5) 高齢者福祉の充実

4,602万円 (5,686万円) ▲

高齢化率が年々上昇する中で、高齢者が生きがいを感じながら健康に暮らすことは、活力あるまちづくりでは重要な課題です。高齢者が充実した生活を送れる環境づくりが強く求められています。

このため、「上川町高齢者保健福祉計画及び上川町介護保険事業計画」に基づき、高齢者が住みなれた地域で安心して楽しく暮らすことができるよう、生きがいつくりや生活支援などの高齢者福祉の充実を図っていきます。

介護保険事業については、高齢者のニーズに合わせた介護サービス、高齢者が要介護状態に至らないように介護予防を重視したサービスなどの充実に努めていきます。また、緊急時に必要な医療情報などを救急隊員に提供する「生命のバトン事業」の取り組みを進めていきます。

●社会福祉センター管理経費

保健福祉課介護福祉グループ 890万円 (917万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：58・59

社会福祉センター（ふれあいセンター）の燃料費や施設管理委託などの維持管理を行う経費です。

財源内訳

町の一般財源 890万円

●地域ケア対策事業

保健福祉課介護福祉グループ 851万円 (844万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：60・61

社会福祉協議会に家事援助サービス（ホームヘルパー派遣）や電話サービス（安否確認と電話相談）などの事業を実施する経費を交付する事業です。

財源内訳

町の一般財源 851万円

●老人福祉施設措置費事業

保健福祉課介護福祉グループ 781万円 (1,112万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：60・61

65歳以上の高齢者で身体上、精神上、環境上、経済上の理由で、家庭で養護を受けることが、むずかしい方が入居できる養護老人ホームの入居者の生活費などを負担する事業です。

財源内訳

入所者費用徴収金 44万円
町の一般財源 737万円

●特別養護老人ホーム大雪荘建設借入金事業

保健福祉課介護福祉グループ 528万円 (551万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：54・55

特別養護老人ホーム大雪荘の建設時借入金の元金返済に対する補助を行う事業です。

財源内訳

地域福祉基金繰入金 528万円

●かみかわ福寿園運営費事業

保健福祉課介護福祉グループ 496万円 (507万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：54・55

特別養護老人ホーム大雪荘などを運営するかみかわ福寿園の運営に対する補助を行う事業です。

財源内訳

地域福祉基金繰入金 496万円

●社会福祉法人等利用者負担軽減事業

保健福祉課介護福祉グループ 185万円 (160万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：60・61

介護保険サービスの利用者の負担軽減を図るため、町民税非課税世帯で一定の所得要件に該当する方を対象に、介護保険サービスの利用者負担額を軽減する事業です。

財源内訳

道からの補助金 132万円
町の一般財源 53万円

●高齢者等介護予防・生活支援事業

保健福祉課介護福祉グループ 180万円 (179万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：60・61

介護予防と自立した生活を確保するため、ひとり暮らしの高齢者などを対象に、除雪サービス、生活支援ショートステイや外出支援サービスを提供する事業です。

財源内訳

サービス利用者負担金 6万円
町の一般財源 174万円



●長寿祝い金 保健福祉課介護福祉グループ 143万円 (141万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：60・61

多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者に対して、感謝の意を表し長寿のお祝いとして、数え年77歳、88歳、99歳と100歳以上の高齢者に、長寿祝い金を支給する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	143万円



●高齢者事業団運営費事業 保健福祉課介護福祉グループ 143万円 (143万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：60・61

高齢者が地域社会の活動と密接な関係を保ちながら、経験と能力を生かした働く機会を確保するため活動している高齢者事業団に対し、活動経費の補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	143万円

●高齢者福祉タクシー料金等助成事業 保健福祉課介護福祉グループ 141万円 (136万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：60・61

高齢者の積極的な社会参加と健康の維持増進を図るため、町民税が非課税か均等割課税の75歳以上の高齢者に対し、タクシー乗車券又はバス乗車カード(1人2,400円分)を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	141万円

●その他高齢者福祉事業

訪問看護ステーション設置事業	保健福祉課介護福祉グループ	70万円	(70万円)	◇
老人クラブ運営費事業	保健福祉課介護福祉グループ	62万円	(62万円)	◇
緊急通報装置貸与事業	保健福祉課介護福祉グループ	29万円	(28万円)	○
介護用品費助成金支給	保健福祉課介護福祉グループ	29万円	(29万円)	◇
寝たきり老人等介護手当支給	保健福祉課介護福祉グループ	24万円	(24万円)	◇
健康と長寿を祝う会実行委員会交付金事業	保健福祉課介護福祉グループ	20万円	(20万円)	◇
高齢者陶芸教室事業	保健福祉課介護福祉グループ	18万円	(19万円)	▲
離島等地域利用者負担軽減措置費事業	保健福祉課介護福祉グループ	5万円	(6万円)	▲
老人医療扶助費事業	保健福祉課医療給付グループ	1万円	(31万円)	▲
老人福祉総務管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	6万円	(7万円)	▲
社会福祉センター屋根張替事業	保健福祉課介護福祉グループ	0万円	(700万円)	▼

(6) 障がい者(児)福祉の充実 1億1,073万円 (1億269万円) ▲

障がい者がある能力や適正に応じて自立した生活を送ることができる社会づくりをめざし、障がいの種別に関係なく、健常者と互いにささえ合う環境づくりが推進されています。

障がい者が社会の一員として安心して暮らすことができるよう「上川町障がい者福祉計画」に基づき、住みやすい環境づくりの構築、就労支援・相談支援体制の充実、情報提供の整備など、よりきめ細かなサービスの提供に努めていきます。

●障害福祉サービス費事業 保健福祉課介護福祉グループ 8,343万円 (7,540万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：56・57

障害者自立支援法に基づくホームヘルプサービスや施設入所支援などの介護給付、自立訓練やグループホームなどの訓練等給付などの障害福祉サービスを提供する事業です。この事業では、これらのサービスに係る利用者負担以外の費用について負担します。

財源内訳	
国の負担金	4,171万円
道の負担金	2,086万円
町の一般財源	2,086万円

●重度心身障害者医療費助成事業 保健福祉課医療給付グループ 787万円 (749万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：58・59

心身障害者家庭の福祉増進を図るため、重度心身障害者やその扶養者に対して、医療費の一部を助成する事業です。(所得制限などの要件があります。)

財源内訳	
道からの補助金	290万円
高額医療費の医療保険者負担分	170万円

●事業運営安定化事業

保健福祉課介護福祉グループ 482万円 (460万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：56・57

旧身体障害者更生施設などの特定旧法指定施設や身体障害者小規模通所授産施設などの精神障害者社会復帰施設等が、療養介護事業所などの障害福祉サービス事業等へ移行した場合に、新体系移行前の報酬水準を基準とした助成を行うことにより、新体系への移行を促進するとともに平成18年4月から施行された障害者自立支援法によって、激変を受けた障がい者施設の事業運営が円滑に進むよう支援する事業です。

財源内訳	
道の補助金	361万円
町の一般財源	121万円

●特定障害者特別給付費事業

保健福祉課介護福祉グループ 302万円 (306万円) ▲
平成20年度当初予算書ページ：56・57

所得の低い障がい者が入所施設を利用する場合に、少なくとも一定額の生活費が手元に残るように、食費や光熱水費などの実費負担の一部を軽減する事業です。

財源内訳	
国の負担金	151万円
道の負担金	75万円
町の一般財源	76万円

●地域生活支援事業

保健福祉課介護福祉グループ 291万円 (358万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：56・57

この事業は、地域で生活する障がい者の日常生活を支援する事業です。移動支援事業や日常生活用具給付事業などのサービスを提供します。

財源内訳	
国の補助金	115万円
道の補助金	58万円
町の一般財源	118万円

●障害者自立支援医療費給付事業

保健福祉課介護福祉グループ 134万円 (144万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：56・57

障がい者の心身の軽減を図り、自立した日常生活や社会生活を営むために必要な医療を提供する事業です。(利用者負担は医療費の原則1割ですが、所得に応じて自己負担額の上限が決められています。)

財源内訳	
国の負担金	67万円
道の負担金	33万円
町の一般財源	34万円

●障害者補装具費給付事業

保健福祉課介護福祉グループ 100万円 (100万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：56・57

障がいにより失われた身体機能の補完や代替するための用具(補聴器、義手、義足、車椅子など)の購入費、修理費を支給する事業です。

財源内訳	
国の負担金	50万円
道の負担金	25万円
町の一般財源	25万円



●その他障がい者(児)福祉事業

難病者援護金事業	保健福祉課介護福祉グループ	84万円	(84万円) ◇
通所サービス利用促進事業	保健福祉課介護福祉グループ	65万円	(65万円) ◇
心身障害者等施設通所交通費助成	保健福祉課介護福祉グループ	63万円	(68万円) ▲
サービス利用計画作成費事業	保健福祉課介護福祉グループ	32万円	(20万円) ○
重度心身障害者福祉タクシー料金助成事業	保健福祉課介護福祉グループ	25万円	(25万円) ◇
腎臓機能障害者交通費助成	保健福祉課介護福祉グループ	20万円	(30万円) ▲
事務処理安定化支援事業	保健福祉課介護福祉グループ	17万円	(0万円) ☆
障害者自立支援法施行円滑化事務等特別支援事業	保健福祉課介護福祉グループ	8万円	(0万円) ☆
新事業移行促進事業	保健福祉課介護福祉グループ	3万円	(0万円) ☆
心身障害福祉管理経費	保健福祉課介護福祉グループ	317万円	(320万円) ▲

(7) 社会保障制度の健全運営

1億7,337万円 (1億6,013万円) ○

国民健康保険事業は高齢者など疾病にかかりやすい被保険者が多く、医療費が増加傾向にあることと経済状況の低迷により国保税の安定的な確保が困難なことなどにより、運営は極めて厳しく、一般会計からの支援が必要な状況となっています。このため予防に重点をおいた医療費抑制、経済状況に配慮した受益者負担の公正化などに取り組み、国保事業の健全かつ安定的な運営を図っていきます。また、予防活動の推進やジェネリック医薬品の適切な情報提供を行っていきます。

後期高齢者医療事業は、国の医療制度の動向を注視しながら、ていねいな住民周知と適正な執行に努めていきます。

●後期高齢者医療事業費

保健福祉課医療給付^{グループ} 7,438万円 (7,573万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：60・61

後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を対象にした医療制度です。保険者である北海道広域連合に対する町の負担金や後期高齢者医療事業特別会計に対する繰出金などの経費です。

財源内訳	
道の負担金	1,320万円
受託事業収入	35万円
町の一般財源	6,083万円

●介護保険事業特別会計繰出金

保健福祉課介護福祉^{グループ} 6,262万円 (5,350万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：58・59

介護が必要な高齢者などにサービスを提供する介護保険事業に対する町の負担分の繰出金です。

財源内訳	
町の一般財源	6,262万円

●国民健康保険事業特別会計繰出金

保健福祉課医療給付^{グループ} 3,636万円 (3,036万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：58・59

国民健康保険事業に対する町の負担分などの繰出金です。

財源内訳	
国の負担金	140万円
道の負担金	895万円
町の一般財源	2,601万円

●老人保健事業特別会計繰出金

保健福祉課医療給付^{グループ} 1万円 (54万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：60・61

老人保健事業に対する町の負担分の繰出金です。今後は後期高齢者医療制度の創設に伴い、後期高齢者医療制度へと移行していきます。

財源内訳	
町の一般財源	1万円

2. 安全・安心で環境にやさしいまちづくり 6億2,568万円 (6億1,224万円) ○

すべての住民が快適な生活を営むため、道路、住宅、上下水道、公園などの社会資本整備を図り、既存施設の効率的な利用と維持管理を進めていきます。

自然災害や交通災害などのさまざまな災害から町民を守り、安心して生活することができる環境をつくるため、消防・防災体制を充実していきます。

また、快適・利便性を向上させ、各種災害、防犯などのさまざまな危機管理体制を確立し、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

(1) 住宅環境の充実 847万円 (1,915万円) ▲

快適な地域生活を送るため、居住環境や地域環境に十分配慮していきます。公営住宅長寿命化事業などを実施していきます。

●公営住宅ストック総合改善(長寿命化)事業 550万円 (0万円) ☆
企画総務課財政グループ 平成22年度当初予算書ページ：94・95

予防保全的な維持管理や耐久性の向上を図る改善等を計画的な実施することにより、既存公営住宅の長寿命化を図る事業です。ことしは層雲峡の紅葉団地2棟6戸の屋根の葺替えを行います。

財源内訳	
国からの補助金	225万円
町の借入金	275万円
町の一般財源	50万円



●住宅管理経費 237万円 (625万円) ▲
企画総務課財政グループ 平成22年度当初予算書ページ：94・95

公営住宅の修繕料などの維持管理経費です。

財源内訳	
国からの補助金	23万円
町の借入金	5万円
公営住宅使用料	214万円

●融雪槽等設置事業 60万円 (100万円) ▲
建設水道課水道管理グループ 平成22年度当初予算書ページ：88・89

冬期間における克雪対策と住環境の改善を図るため、町民が設置する融雪槽などに対し助成を行う事業です。ことしの助成対象件数は3件です。

財源内訳	
町の一般財源	60万円

●その他住宅環境事業			
大雪団地ストック総合改善事業	企画総務課財政グループ	0万円	(1,040万円) ▼
西町町有住宅水洗化事業	企画総務課財政グループ	0万円	(150万円) ▼

(2) 上下水道の充実 1億2,469万円 (1億1,305万円) ○

水道事業では、配水管の布設替など緊急性を考慮した事業の執行と適切な施設の維持管理を行い、安全でおいしい水の安定供給に努めていきます。

下水道事業では、道道東2丁目通道路改良工事に伴う管渠工事などを実施し、快適な生活環境の実現に努めていきます。

●公共下水道事業特別会計繰出金 1億1,880万円 (1億739万円) ▲
建設水道課水道管理グループ 平成22年度当初予算書ページ：92・93

公共下水道事業に対する繰出金です。ことしの公共下水道事業では道道東2丁目通道路改良工事に伴う下水道配水管工事などを行います。

財源内訳	
町の一般財源	1億1,880万円

●水道事業会計負担金・出資金 589万円 (566万円) ○
建設水道課水道管理グループ 平成22年度当初予算書ページ：122・123

水源開発対策借入金の償還に伴う水道事業に対する町の負担金などです。ことしの水道事業では道道東2丁目通道路改良工事に伴う水道配水管の布設替工事や層雲峡浄水場の改修工事などを行います。

財源内訳	
町の一般財源	589万円

(3) 消防・救急体制の充実

2億8,222万円 (2億6,905万円) ○

消防は、火災などの災害から町民の生命、財産を守るという重要な任務を担っています。近年の火災発生件数は、町民の防火意識の高揚により減少していますが、焼死事故防止のための住宅用火災警報器の設置など火災予防活動を促進していきます。

救急業務は、救急需要の増加に伴い、高規格救急自動車の更新と救急救命士の増員、救急隊員の技術向上に努めていきます。また、救急車の適正使用についても住民周知を図っていきます。

●消防経費負担金事業

企画総務課財政グループ 2億8,203万円 (2億6,886万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：96・97

上川中部消防組合の上川消防署と層雲峡出張所の人件費などの運営経費や消防団に係る経費などについての負担金です。ことしは、高規格救急車の更新や層雲峡出張所の改築に係る基本設計などを行います。

財源内訳	
町の借入金	2,180万円
町の一般財源	2億6,023万円



●小中学校等AED設置事業

教育委員会学校教育グループ 19万円 (19万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：102・103、114・115

上川小学校、上川中学校と総合体育館などに設置しているAED（自動体外除細動器）の賃借料です。

財源内訳	
町の一般財源	19万円

※ AED(自動体外式除細動器)は、突然心停止状態に陥った時、心臓に電気ショックを与えて、正常な状態に戻す、誰にでも簡単に取り扱える医療機器です。

(4) 防災危機管理体制の充実強化

380万円 (100万円) ○

住民の生命、財産を災害から保護し、防災の万全を期するため地域防災計画に基づき防災体制の強化と災害に強いまちづくりに努めていきます。

また、砂防・治山事業についても引き続き事業促進を図っていきます。

●住宅・建築物耐震対策事業

建設水道課技術グループ 320万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：34・35

公共施設などの耐震対策を行う事業です。ことしは福祉会館（保健福祉センター）の耐震診断を行います。

財源内訳	
国からの補助金	102万円
町の一般財源	218万円

●その他防災危機管理体制事業

道北地方山岳遭難防止対策事業	産業経済課商工観光グループ	25万円	(33万円) ▲
防災関係経費	企画総務課企画グループ	20万円	(9万円) ○
道路橋梁災害復旧事業	建設水道課技術グループ	15万円	(15万円) ◇
町有住宅用火災報知機設置事業	企画総務課財政グループ	0万円	(43万円) ▼

(5) 交通安全・防犯の推進

1,095万円 (1,080千円) ○

上川町安全安心まちづくり条例に基づき、関係機関・団体が緊密に連携し、交通安全、防犯の啓発、事故防止に努めます。交通事故死ゼロへの取り組みと住民一人ひとりの意識の高揚を図り、地域や職場ぐるみで安全運動の推進を図っていきます。

●町内会街灯電気料助成事業

企画総務課総務グループ 63万円 (56万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：38・39

各町内会で管理をしている街灯の電気代に対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	63万円

●交通安全・防犯事業

町道区画線設置事業等	企画総務課総務グループ	25万円	(39万円) ▲
上川町交通安全協会補助金事業	企画総務課総務グループ	3万円	(3万円) ◇
上川町防犯協会事業	企画総務課総務グループ	2万円	(2万円) ◇
地域安全対策関係経費	企画総務課総務グループ	1,002万円	(980万円) ○

(6) 消費者生活の安定

3万円 (3万円) ▼

消費者被害の未然防止と被害者対策のため、町広報紙などによる情報提供、消費者相談員との連携による相談体制の充実と消費者生活の環境づくりに努めていきます。

●消費者生活安定事業

消費者保護対策事業	産業経済課商工観光グループ	3万円	(3万円) ▼
-----------	---------------	-----	---------

(7) 環境衛生の充実

1億9,552万円 (1億9,916万円) ▲

一般廃棄物の排出量は年々減少傾向にあります。今後も、廃棄物の減量化・資源化を推進し、地域住民の協力により、循環型社会の形成に努めていきます。また、住民の利便性を図るため、6月と10月の第1日曜日に、家庭用の可燃ごみに限り、愛別の富沢衛生センターをオープンすることとします。

し尿処理については、「大雪浄化組合」と「富良野広域連合環境衛生センター」に搬出します。また、河川等の水質保全の観点から、引き続き浄化槽設置整備事業に助成していきます。

●愛別町外3町塵芥処理組合事業

税務住民課住民グループ 1億989万円 (1億1,306万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：66・67

愛別町、当麻町、比布町と上川町が共同でゴミ処理を行っている愛別町外3町塵芥処理組合に対する町の負担金です。

財源内訳

町の一般財源	10,989万円
--------	----------

●し尿処理事業

税務住民課住民グループ 3,982万円 (4,071万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：70・71

下水道に接続をしていない家庭などのし尿を処理する際の処理場に対する手数料やし尿収集運搬業務委託料などの経費です。

財源内訳

し尿取扱手数料	1,575万円
町の一般財源	2,407万円

●一般廃棄物事業

税務住民課住民グループ 3,748万円 (3,721万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：66・67

家庭やホテルなどのゴミを収集する業務の委託料です。

財源内訳

ゴミ収集手数料	930万円
町の一般財源	2,818万円

●上川町リサイクル等推進協議会事業

税務住民課住民グループ 239万円 (243万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：66・67

ゴミ資源の有効活用などを推進するため、ゴミの減量化や資源ゴミの回収を行っているリサイクル等推進協議会に対し活動費を交付する事業です。

財源内訳

町の一般財源	239万円
--------	-------



●**公衆衛生過疎対策事業** 税務住民課住民グループ 239万円 (224万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：66・67

公衆浴場の経営の安定を確保するため、経営に対する補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	239万円

●**火葬場維持管理経費** 税務住民課住民グループ 188万円 (177万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：66・67

火葬場の燃料費などの維持管理の経費です。

財源内訳	
火葬場使用料	32万円
町の一般財源	156万円

●**再生資源回収処理事業** 税務住民課住民グループ 114万円 (113万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：66・67

資源ゴミを回収し処理する業務の委託料です。

財源内訳	
町の一般財源	114万円

●**その他環境衛生事業**

リサイクル管理経費	税務住民課住民グループ	40万円	(39万円)	○
墓地維持管理事業	税務住民課住民グループ	6万円	(6万円)	◇
環境衛生関係経費	税務住民課住民グループ	7万円	(16万円)	▲

3. 魅力と活力ある元気なまちづくり 4億3,504万円 (3億1,549万円) ○

生産者と消費者が幅広い分野で連携し、地元の資源や生産物、人材、技術を地元で消費・活用することによって、人や物、資金の地域循環を高め、地域経済の活性化を図る産消協働の取り組みを、息の長い運動として総合的に展開していきます。

農業振興については、経営の安定化を図るため、安全・安心・安定した生産体制の確立、生産力の向上、基盤整備や農業者の育成などの活性化対策を進めていきます。

商工業振興については、地域経済の活性化や雇用の拡大を図るため、既存商工業の振興と企業誘致を進め、地域資源を活用した新たな商品開発やPR活動を展開し、地場製品の消費拡大を進めていきます。

関連産業のすそ野が広い観光については、旅行目的や旅行形態の多様化・個性化に対応した質の高い「観光産業」の創出を図るため、豊かな自然を活かした、ゆとりとうるおいが得られる魅力ある観光地づくりを進めていきます。

(1) 農業の振興 2億5,650万円 (1億2,900万円) ○

本道の農業・農村を巡る情勢は、過疎化・高齢化による担い手の減少、耕作放棄地の増加、農畜産物価格の低迷や肥料・飼料をはじめとする農業生産資材の価格高騰、併せて昨年の冷湿害などによる農作物被害は農家経営を直撃し、大変厳しい状況下にあります。政権交代による農業諸施策の転換を本町の地域特性と農業者の創意工夫を最大限に活かし、活力あるものにしていきます。

稲作・畑作では、新たに「米の戸別所得補償制度モデル事業」、「水田利活用自給力向上事業」、「第3期中山間地域等直接支払制度交付金事業」、「飼料用稲ワラ収集利用推進事業」などを取り組んでいきます。畜産・酪農では、経営の安定化を図るため、有利な融資制度資金の導入と助成措置を継続していきます。また、地元農畜産物の地産地消と販路拡大を図っていきます。

さらに、畜産・畑作を中心とする農業の生産基地である旭ヶ丘地区の優れた自然や景観を活用した「旭ヶ丘地区活性化計画」に基づく整備を計画的に推進し、産消協働による産業振興と雇用促進を図るとともに農業、商業、観光業の連携による活性化を図っていきます。

●旭ヶ丘地区活性化事業 1億3,780万円 (0万円) ☆
 企画総務課企画グループ
 平成22年度当初予算書ページ：76・77

平成21年度に作成をした「旭ヶ丘地区活性化計画」に基づき、素晴らしい景観を有する旭ヶ丘地区を全国に誇れるような場所を目指し整備をして行く事業です。ことしは地域資源活用交流施設の整備を行います。

財源内訳	
町の借入金	13,520万円
町の一般財源	260万円

●中山間地域等直接支払制度交付金事業 6,204万円 (6,379万円) ▲
 産業経済課農林水産グループ
 平成22年度当初予算書ページ：72・73

中山間地域における条件不利地な農用地に対し、直接支払制度により耕作放棄地の防止などの農業生産活動のほか多面的機能をさらに増進する活動に対し助成を行うものです。

財源内訳	
道からの交付金	4,651万円
町の一般財源	1,553万円

●大家畜経営体質強化資金等損失補償償還金事業 1,420万円 (1,439万円) ▲
 産業経済課農林水産グループ
 平成22年度当初予算書ページ：76・77

大家畜経営体質強化資金などの町が損失補償した資金に対する損失補償分の償還金です。(平成25年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	1,420万円

●農道改良事業 483万円 (720万円) ▲
 産業経済課農林水産グループ
 平成22年度当初予算書ページ：76・77

農産物や農業資材の輸送環境の改善、大型機械化の推進と経営の安定を図るため、平成8年に実施した豊原地区の農道整備事業の償還金に対する補助を行う事業です。(平成22年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	483万円

●農業委員会管理経費 462万円 (463万円) ▲
 産業経済課農林水産グループ
 平成22年度当初予算書ページ：72・73

委員会の委員報酬などの農業委員会の運営経費です。

財源内訳	
道からの補助金など	175万円
農業者年金基金からの業務手数料他	25万円
町の一般財源	262万円

- 地域農業支援事業** 産業経済課農林水産^{グループ} 314万円 (313万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：74・75

地域農業支援システムの推進を図るため、農地買い戻し事業の償還金に対する補助を行う事業です。(平成44年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	314万円

- 玄米調製施設整備事業** 産業経済課農林水産^{グループ} 305万円 (311万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：72・73

平成12年度に導入した色彩選別機をはじめとする玄米調製施設設備に係る借入金の償還金に対する助成を行う事業です。(平成22年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	305万円



- 畜産振興総合対策事業 (条件整備推進型)** 産業経済課農林水産^{グループ} 250万円 (250万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：74・75

農業の労働力不足を補完するため、総合コントラクター（農作業の労働ピーク時の調整、機械利用の合理化と耕種や畜産部門の多角的な農作業を行うための農作業請負組織をいいます。）に対し、作業員などの育成、確保や機械借上料などに対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	250万円

- 土地改良事業管理経費** 産業経済課農林水産^{グループ} 212万円 (140万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：76・77

土地改良事業で造成をした町の管理施設などの維持や調査を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	212万円

- 有害鳥獣駆除事業** 産業経済課農林水産^{グループ} 201万円 (117万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：78・79

生活環境や農業、林業などに被害を及ぼすヒグマや鹿などの有害鳥獣からの被害を防止するための経費です。ことしは、ヒグマ用の箱わな1台や野生動物監視用カメラ3台を購入します。

財源内訳	
町の一般財源	201万円

- 農地・水・環境保全向上対策事業** 産業経済課農林水産^{グループ} 200万円 (213万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：72・73

過疎化や高齢化が進むことによる集落機能の低下を防ぎ、農地や農業用水などの資源の保全や管理を行うために、農業生産の基礎となる農地や農業用水をはじめ農村の環境や美しい景観を、農業者だけでなく地域ぐるみで守り支えていく活動に対して支援をする事業です。(東雲地区と菊水地区が対象になります。)

財源内訳	
道からの交付金	13万円
町の一般財源	187万円

- 町営牧野管理事業** 産業経済課農林水産^{グループ} 177万円 (291万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：74・75

町営牧野の維持管理をするための委託料です。

財源内訳	
町営牧野使用料	76万円
町の一般財源	101万円

- 農業公園管理経費** 産業経済課農林水産^{グループ} 159万円 (266万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：76・77

旭ヶ丘地区にある農業公園の管理棟をはじめとする施設等の維持管理経費です。

財源内訳	
農業公園休憩管理棟貸付料他	38万円
町の一般財源	121万円

●大雪区域畜産基地借入資金償還金
 利子補給事業

産業経済課農林水産グループ

135万円

(195万円) ▲

平成22年度当初予算書ページ：74・75

大雪区域畜産基地事業参加農家の借入金に対する利子補給を行うことにより、肉用牛生産の安定化を図る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	135万円

●肥育牛舎建設事業償還金補助事業

産業経済課農林水産グループ

131万円

(134万円) ▲

平成22年度当初予算書ページ：74・75

大雪アンガス牧場が平成8年度に建設をした肥育牛舎に係る借入金の償還金に対する助成を行い、肉牛農家の経営安定化を図る事業です。(平成23年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	131万円



●旭ヶ丘地区水道施設維持管理事業

産業経済課農林水産グループ

125万円

(103万円) ○

平成22年度当初予算書ページ：74・75

旭ヶ丘地区の水道施設の維持管理をする経費です。

財源内訳	
水道施設貸付料	50万円
町の一般財源	125万円

●農業振興地域整備計画策定事業

産業経済課農林水産グループ

120万円

(125万円) ▲

平成22年度当初予算書ページ：72・73

農業の近代化のための必要な条件をそなえた農業地域を保全し、農業振興に関する施策を計画的に推進するため、農業振興地域整備計画を策定する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	120万円

●その他農業振興事業

肉用牛再編対策利子補給補助事業	産業経済課農林水産グループ	110万円	(110万円)	◇
農業経営基盤強化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	85万円	(94万円)	▲
乳牛検定事業	産業経済課農林水産グループ	77万円	(72万円)	○
大家畜経営体質強化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	54万円	(97万円)	▲
死亡牛等処理事業	産業経済課農林水産グループ	53万円	(53万円)	◇
農産物消流対策事業	産業経済課農林水産グループ	48万円	(53万円)	▲
大家畜経営活性化資金利子補給補助事業	産業経済課農林水産グループ	39万円	(50万円)	▲
大家畜経営改善支援資金利子補給補助事業	産業経済課農林水産グループ	36万円	(37万円)	▲
飼料用稲わら収集利用推進事業	産業経済課農林水産グループ	30万円	(0万円)	☆
農業経営継続緊急支援対策事業(冷湿害対策)	産業経済課農林水産グループ	29万円	(300万円)	▼
農産物施設緊急整備事業	産業経済課農林水産グループ	27万円	(30万円)	▲
畜産経営維持緊急支援資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	13万円	(0万円)	☆
新規就農者誘致特別措置奨励金事業	産業経済課農林水産グループ	12万円	(12万円)	◇
農業担い手対策推進事業	産業経済課農林水産グループ	6万円	(6万円)	◇
農業経営安定化資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	5万円	(6万円)	▲
農用地整備公団事業償還金借換分保障料補助事業	産業経済課農林水産グループ	1万円	(3万円)	▲
農業振興管理経費	産業経済課農林水産グループ	326万円	(309万円)	○
畜産業費管理経費	産業経済課農林水産グループ	21万円	(3万円)	○
肉用牛貸付事業	産業経済課農林水産グループ	0万円	(104万円)	▲
クリーン農業推進対策事業	産業経済課農林水産グループ	0万円	(100万円)	▲
災害対策資金利子補給事業	産業経済課農林水産グループ	0万円	(2万円)	▲

(2) 林業の振興

3,212万円 (3,547万円) ▲

森林の有する多面的かつ公益的機能に配慮し、良質材生産や環境保全機能の高い森づくりを積極的に推進するため「上川町森林・林業再生プラン」を策定し、「森林のまち」として森林資源の活用と地域の活性化を図っていきます。

●町有林整備事業

産業経済課農林水産グループ 2,958万円 (3,165万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：36・37

町民の生活環境の保全と良質な木材の確保を図るため、町有林の整備を行う事業です。ことしは、間伐・枝打等72.46ha、下刈63.37ha、植栽(改植・補植含む)6.77haなどを行います。

財源内訳	
国からの交付金	210万円
道からの補助金	690万円
木材の売払収入	338万円
町の借入金	1,710万円
町の一般財源	10万円

●21世紀北の森づくり推進事業

産業経済課農林水産グループ 104万円 (208万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：78・79

無立木地や伐採跡地に苗木を植栽することにより、地球温暖化防止や土砂流出の防止などの公益的機能の高い森づくりを進めるため、民有林での植栽に対し助成を行う事業です。

財源内訳	
道からの補助金	64万円
町の一般財源	40万円

●旭ヶ丘地区森林景観整備事業

産業経済課農林水産グループ 98万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：78・79

農業公園を中心にした旭ヶ丘地区の景観整備を行う事業です。ことしも、ニトリ北海道応援基金の助成を受けて、サクラやツツジの植樹などを行います。

財源内訳	
ニトリ北海道応援基金からの助成金	97万円
町の一般財源	1万円



●その他林業振興事業

林業振興管理経費	産業経済課農林水産グループ	52万円	(46万円) ○
旭ヶ丘地区サクラ並木整備事業	産業経済課農林水産グループ	0万円	(128万円) ▲

(3) 淡水漁業の振興

138万円 (206万円) ▲

飼養管理技術の向上を図り、安定的かつ計画的な生産を確保し、消費者への需要拡大と販路拡大により経営の安定化を図っていきます。

●ウィルス性伝染病防疫対策事業

産業経済課農林水産グループ 70万円 (70万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：80・81

環境悪化、水質汚染などによる魚病発生に対応するため、各種予防対策を実施し、健康な種苗の育成を図る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	70万円

●その他淡水漁業振興事業

パンケフェマナイ川導水路維持管理事業	産業経済課農林水産グループ	65万円	(133万円) ▲
水産業振興管理経費	産業経済課農林水産グループ	3万円	(3万円) ◇

(4) 商工業の振興

3,184万円 (4,565万円) ▲

町内の商工業振興と経営の安定化を図るため、各種制度資金の活用支援、町特・町単独融資制度利子補給の継続、産業振興条例に基づく助成や経営改善普及事業に対して支援していきます。

また、商工業振興対策事業(プレミアム商品券)に助成し、町内での消費拡大と商工振興を図っていきます。さらに、産業間連携を推進し、「食のイベント」、「特産品フェア」などに積極的に参加し、地場製品の消流対策を図っていきます。

●上川町中小企業特別融資制度預託金 産業経済課商工観光^{グループ} 1,000万円 (2,000万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：82・83

中小企業者の育成振興や経営の合理化を促進し、その経済的地位の向上と事業運営の基礎となる金融の円滑化を図るための上川町中小企業特別融資制度の円滑な運営を図るため、金融機関に対し、融資の運用基金として預託金を預ける事業です。

財源内訳	
預託金返還金	1,000万円

●商工振興事業 産業経済課商工観光^{グループ} 717万円 (527万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：82・83

地域の商工業者の経営改善への相談や指導、地域内経済振興を図るため活動を行っている商工会の活動経費に対し補助をする事業です。

財源内訳	
町の一般財源	717万円

●商工業振興対策事業 産業経済課商工観光^{グループ} 468万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：82・83

地元購買意欲の促進、町内事業者の流通の確保とまちの活性化を図るため、15%プレミアム付きの商品券「とくとく商品券」の発行に対し補助をする事業です。

財源内訳	
町の一般財源	468万円

●上川町勤労者住宅資金貸付制度預託金 産業経済課商工観光^{グループ} 300万円 (1,000万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：82・83

勤労者の住宅建設促進のための勤労者住宅資金貸付制度の円滑な運営を図るため、融資の運用基金として、金融機関に預託金を預ける事業です。

財源内訳	
預託金返還金	300万円

●上川町単独融資制度預託金 産業経済課商工観光^{グループ} 300万円 (600万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：82・83

中小企業者などの育成のための上川町中小企業特別融資制度の対象外企業者などへの対応として設けている上川町単独融資制度の円滑な運営を図るため、金融機関に対し、融資の運用基金として預託金を預ける事業です。

財源内訳	
預託金返還金	300万円

●その他商工業振興事業

ふる里まつり負担金事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	70万円	(70万円)	◇
町特別融資制度利子補給事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	60万円	(108万円)	▲
たべもの交流館維持管理経費	建設水道課建設管理 ^{グループ}	27万円	(17万円)	○
地場産品消流対策事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	15万円	(15万円)	◇
まちおこし推進事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	5万円	(5万円)	◇
町単独融資制度利子補給事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	2万円	(4万円)	▲
商工貯蓄共済制度利子補給事業	産業経済課商工観光 ^{グループ}	1万円	(2万円)	▲
商工労働管理経費	産業経済課商工観光 ^{グループ}	219万円	(217万円)	○

(5) 観光業の振興 1億743万円 (1億143万円) ○

観光産業の安定的な発展を図るため、層雲峡観光協会運営事業、層雲峡地区活性化イベント事業や観光客誘致対策事業などに支援し、観光客の多様なニーズに対応した魅力ある観光地づくりや誘客対策、イベントの充実と「滞在型・体験型観光」の推進を図っていきます。

また、国内外に対する観光PRの充実拡大を図るため、「きた北海道・大雪広域観光情報推進協議会」に加盟し、町内観光スポット・特産品はもとより広域観光情報を提供し、観光客に対するサービスの向上と観光客誘致対策を積極的に取り組んでいきます。

●層雲峡コミセン及バーデハウス管理運営等 産業経済課商工観光^{グループ} 4,275万円 (4,210万円) ○

平成22年度当初予算書ページ：86・87

層雲峡観光総合コミュニティーセンターと大雪山バーデハウス（黒岳の湯）の維持管理経費や指定管理者に対する管理料、指定管理者の借入金に対する補助などを行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	4,275万円

- 層雲峡パークゴルフ場維持管理経費 産業経済課商工観光グループ 1,441万円 (1,007万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：86・87

清川地区の層雲峡パークゴルフ場の管理業務委託料などの維持管理経費です。ことしは、芝刈り用のトラクター2台、ロータリーモア1台と自走式草刈機1台の更新を行います。

財源内訳	
緑化協力金など	367万円
町の一般財源	1,074万円

- 層雲峡観光協会運営事業費事業 産業経済課商工観光グループ 1,150万円 (1,050万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：84・85

町の基幹産業である観光の推進を図るため、観光客誘致宣伝や各種イベントの開催などの活動を行う観光協会の活動経費に対し補助を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	1,150万円

- 層雲峡地区活性化イベント事業 産業経済課商工観光グループ 800万円 (600万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡地区の活性化を図るためのイベント、峡谷火まつり、花ものがたり、氷瀑まつりに対する町の負担金です。

財源内訳	
町の一般財源	800万円

- 青少年旅行村維持管理経費 産業経済課商工観光グループ 536万円 (537万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：86・87

清川地区の青少年旅行村（キャンプ場）の管理業務委託料などの維持管理経費です。

財源内訳	
青少年旅行村使用料	281万円
町の一般財源	255万円



- 観光客誘致対策事業 産業経済課商工観光グループ 500万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡温泉の話題性作りと知名度アップを図るために実施をしている温泉感謝祭事業に対して補助をする事業です。

財源内訳	
町の一般財源	500万円

- 環境整備事業 産業経済課商工観光グループ 350万円 (350万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡の園地、公共トイレの清掃や白雲岳管理などを行うための負担金です。

財源内訳	
町の一般財源	350万円

- 愛山溪倶楽部維持管理経費 産業経済課商工観光グループ 320万円 (292万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：84・85

愛山溪の青少年の家とヒュッテの管理業務委託料などの維持管理経費です。

財源内訳	
町の一般財源	320万円

- 層雲峡駐車場整理事業 産業経済課商工観光グループ 201万円 (201万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡市街地区の駐車場の整理業務委託料です。

財源内訳	
町の一般財源	201万円

- 流星・銀河の滝駐車場管理事業 産業経済課商工観光グループ 111万円 (111万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：84・85

流星銀河の滝の駐車場の整理業務委託料です。

財源内訳	
町の一般財源	111万円

●その他観光業振興事業		
不採算バス路線（銀泉台）対策事業	産業経済課商工観光グループ	100万円 (100万円) ◇
農業・商工・観光連携対策事業	産業経済課商工観光グループ	65万円 (50万円) ○
イベント等告知用看板設置事業	産業経済課商工観光グループ	56万円 (870万円) ▲
双瀑の滝公衆トイレ管理事業	産業経済課商工観光グループ	7万円 (6万円) ○
清川水芭蕉園整備事業	産業経済課商工観光グループ	5万円 (5万円) ◇
観光振興管理経費	産業経済課商工観光グループ	826万円 (754万円) ○

(6) 雇用対策の充実 427万円 (38万円) ○

経済不況の中、雇用・失業情勢は非常に厳しい状況が続いています。国・道の緊急雇用創出事業などに取り組みとともに、産業間連携及び企業誘致により雇用の創出と安定、拡大に努めていきます。

- 緊急雇用創出事業 産業経済課農林水産グループ 388万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：78・79

国の緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、旭ヶ丘地区などの大雪山周辺の森林景観の整備を行う事業です。雇用期間は5月から10月までです。

財源内訳	
道からの補助金	385万円
町の一般財源	3万円

●雇用対策事業		
上川地区連合会事業	産業経済課商工観光グループ	28万円 (28万円) ◇
上川町福祉共済会事業	産業経済課商工観光グループ	6万円 (6万円) ◇
上川中部季節労働者通年雇用促進協議会事業	産業経済課商工観光グループ	3万円 (2万円) ○
雇用問題対策委員会経費	産業経済課商工観光グループ	2万円 (2万円) ◇

(7) 人材の育成 150万円 (150万円) ◇

ふるさと創生基金などを活用した中学生、高校生、町民を対象とした研修事業を継続推進するとともに、能力の開発や学習する機会などの環境づくりを図り、多様な人材の育成と確保に努めていきます。

- ふるさと創生事業推進事業 企画総務課企画グループ 150万円 (150万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：36・37

上川高校の高校生を対象に、国際感覚の育成と郷土への再認識を図るための海外研修に係る経費を交付する事業です。

財源内訳	
ふるさと創生基金繰入金	150万円

4. 豊かな自然環境と共生するまちづくり 2億3,204万円 (3億4,874万円) ▲

大雪山国立公園のまちにふさわしい環境整備を行い、自然景観のうらおいを享受できる美しいまちづくりを進めていきます。

大雪山は、いつの時代においても、いきいきと存在する「上川町のシンボル」であることから、こうした環境を適切に保全し、暮らしの場、訪れる場、ふれあいの場など、わたしたちが豊かに生きるための環境として、自然と共生するまちづくりを進めていきます。

(1) 景観の形成 3万円 (3万円) ◇

大雪山国立公園の自然に配慮した景観形成を進めるため、地域住民と行政の連携による幹線道路など沿道景観の検討や「旭ヶ丘地区活性化計画」に基づく景観形成・保全などについて取り組んでいきます。

●景観形成事業

景観審議会経費	建設水道課建設管理グループ	3万円	(3万円) ◇
---------	---------------	-----	---------

(2) 自然環境の保護と活用 774万円 (804万円) ▲

上川町は自然の恩恵を受け生活を営み続けてきたまちです。貴重な自然は人間形成や産業にも大きな役割を果たしていることから、今後も自然環境との調和・共生を図りつつ保全に努めていきます。

●層雲峡地区自然ふれあい利用協議会事業 370万円 (410万円) ▲
産業経済課商工観光グループ 平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡ビジターセンターの管理運営や自然学習、体験学習を進めるため、層雲峡地区を中心に自然観察講座の開催などや自然情報の収集、提供を行う事業です。

財源内訳	
町の一般財源	370万円

●高原温泉地区利用者指導等事業 250万円 (250万円) ◇
産業経済課商工観光グループ 平成22年度当初予算書ページ：84・85

高原温泉地区の沼めぐりコースはヒグマの生息地にコースがあることから、利用者に対する指導業務を行い、利用者とヒグマの共存を図る事業です。

財源内訳	
道からの委託金	122万円
町の一般財源	128万円



●自然保護巡視事業 146万円 (136万円) ○
産業経済課商工観光グループ 平成22年度当初予算書ページ：84・85

層雲峡地区の自然保護巡視事業に対する町の負担金です。

財源内訳	
町の一般財源	146万円

●その他自然環境保護事業

大雪山愛護少年団事業	産業経済課商工観光グループ	8万円	(8万円) ◇
------------	---------------	-----	---------

(3) 都市計画の推進 1億1,228万円 (1億8,315万円) ▲

道道東2丁目通跨線橋のエレベーター設置工事を実施するほか、上川駅周辺地区サイン整備事業を計画的に進めていきます。また、南町公園については、道道東2丁目通道路改良工事で一部支障となることから、再整備のための実施計画を作成していきます。

●土地区画整理事業特別会計繰出金 4,793万円 (1億3,321万円) ▲
建設水道課建設管理グループ 平成22年度当初予算書ページ：92・93

上川駅周辺の土地区画整理事業を展開するための特別会計に対する繰出金です。ことしの土地区画整理事業での事業実施カ所については、道道上川停車場線（郵便局前～消防署交差点、延長120m）と大雪本通り（七りん前～旧おおば交差点、延長77m）の道路改良などです。

財源内訳	
町の借入金	3,240万円
町の一般財源	1,553万円

- 東2丁目通エレベーター整備事業 建設水道課建設管理グループ 3,528万円 (450万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：92・93

道道東2丁目通の陸橋化に伴い、高齢者や障がい者などの安全な移動を確保するためエレベーターの設置を行う事業です。ことしは南町側のエレベーターの設置工事を行います。

財源内訳	
国からの補助金	2,270万円
町の借入金	1,230万円
町の借入金	28万円

- 公園管理経費 建設水道課建設管理グループ 1,291万円 (1,017万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：92・93

各街区公園の管理業務委託料などの維持管理経費です。ことしは、公園遊具の修繕などを行います。

財源内訳	
東2丁目通交付金工事補償費	685万円
町の一般財源	606万円

- 上川駅周辺地区サイン整備事業 建設水道課建設管理グループ 1,000万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：92・93

中心市街地に看板などのサインを整備することにより、移動の円滑化と快適性を図る事業です。ことしは、駅前に市街地案内看板等の整備を行います。

財源内訳	
国からの補助金	650万円
町の借入金	350万円

- 都市計画変更経費 建設水道課技術グループ 356万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：88・89

上川駅周辺地区土地区画整理事業などにより都市計画の変更が生じることから計画の変更を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	356万円

- 南町公園整備事業 建設水道課技術グループ 260万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：92・93

子どもたちやお年寄りの憩いの場としての南町公園の整備を行う事業です。ことしは公園整備の実施設計を行います。

財源内訳	
国からの補助金	130万円
町の借入金	90万円
町の借入金	40万円

- その他道路環境整備事業
- | | | | | |
|------------------|---------------|-----|-----------|---|
| 上川型こみせネットワーク形成事業 | 建設水道課建設管理グループ | 0万円 | (2,038万円) | ▲ |
| 東2丁目通交付金工事受託事業 | 建設水道課建設管理グループ | 0万円 | (1,439万円) | ▼ |
| 土地区画整理費附带事業 | 建設水道課建設管理グループ | 0万円 | (50万円) | ▼ |

(4) 道路環境の整備と充実 9,941万円 (1億1,496万円) ▲

上川駅周辺地区土地区画整理事業の進捗に合わせ道道上川停車場線と町道大雪本通線の道路改良舗装工事を実施していきます。また、未改良路線の解消についても、引き続き計画的に実施するほか、橋梁の長寿命化計画策定に取り組んでいきます。

- 町道除雪業務経費 建設水道課技術グループ 4,463万円 (4,631万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：90・91

町道の除雪に係る臨時職員賃金や除雪業務委託料などの経費です。

財源内訳	
町の一般財源	4,463万円

- 道路橋梁維持管理経費 建設水道課技術グループ 2,593万円 (2,451万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：90・91

道路など維持管理に係る臨時職員賃金や道路排水清掃業務委託料など町道の維持管理をするための経費です。

財源内訳	
国からの補助金	200万円
道路の使用料など	990万円

町の一般財源

1,403万円

●**道路整備事業** 建設水道課技術グループ 1,200万円 (0万円) ☆
 平成22年度当初予算書ページ：90・91

町道の道路改良等を行う事業です。ことしは次の事業カ所の工事などを行います。
 ◎東2丁目支線（神社通り）道路改良工事（平成23年度までの2カ年事業、延長187mの一部）
 ◎西町公営住宅団地内道路舗装工事（延長94m）
 ◎旭町南6条線道路舗装工事（延長162m）
 ◎花園町西1丁目仲通り線道路舗装工事（延長48m）
 ◎旭町東6丁目仲通り線道路舗装工事（延長85m）

財源内訳	
町の一般財源	1,200万円

●**緊急整備事業** 建設水道課技術グループ 500万円 (600万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：90・91

町道の破損等の緊急に整備を要する場合の工事費です。

財源内訳	
町の一般財源	500万円

●**北1条線道路改良事業** 建設水道課技術グループ 300万円 (0万円) ☆
 平成22年度当初予算書ページ：90・91

北1条線は小学校や保育所への通学路等として、また診療所への通院用の道路として多くの幼児や児童、高齢者の通行がある道路です。安全で快適に通行できる道路へと改良を行う事業です。ことしは、道路の調査及び実施設計を行います。

財源内訳	
町の一般財源	300万円

●**橋梁長寿命化対策事業** 建設水道課技術グループ 200万円 (230万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：90・91

町道に架かっている橋の予防的な修繕や計画的な架替えを円滑に進めていくための事業です。ことしは、町民の利用が多い橋を中心に長寿命化修繕計画を行います。

財源内訳	
国からの補助金	110万円
町の一般財源	90万円

●**道路台帳・地籍図等事業** 建設水道課建設管理グループ 150万円 (150万円) ◇
 平成22年度当初予算書ページ：88・89

道路台帳の修正業務、土地基本台帳の地図データの修正業務などの委託を行う事業です。

財源内訳	
道路の使用料など	150万円

●**その他道路環境整備事業**

土木総務管理経費	建設水道課建設管理グループ	535万円	(190万円)	○
雪寒機械整備事業	建設水道課技術グループ	0万円	(3,244万円)	▼

(5) 公共交通の充実 608万円 (1,047万円) ▲

地域における生活圏・経済圏・医療圏の安全性・利便性などを確保するため、人優先を基本とした交通・通信体系を図り、国道・道道の整備を促進し、高規格幹線道路との有機的な道路網の形成に努めていきます。また、町営バス越路線については、効率的な運行をめざし、地域住民の理解のもと、事前予約制によるデマンドバスの運行を実施していきます。

●**町営バス運行経費** 企画総務課総務グループ 608万円 (1,047万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：38・39

越路線の町営バスなどの運行に係る業務委託料などの経費です。

財源内訳	
越路線バス使用料	3万円
町の一般財源	605万円



(6) 情報通信の充実

624万円 (3,209万円)

層雲峡地区ブロードバンド整備事業については、ICT交付金を活用し、早期の供用開始に向けて情報通信の高速化を推進していきます。

●**総合行政ネットワークシステム機器更新事業** 企画総務課総務グループ 525万円 (529万円) ▲

平成22年度当初予算書ページ：32・33

備荒資金組合の譲渡事業を活用し、総合行政ネットワークシステム(職員の1人1台パソコンのネットワークシステム)の機器の更新を行った経費の償還金です。(平成24年度まで)

財源内訳	
町の一般財源	525万円

●**層雲峡地区ブロードバンド整備事業** 企画総務課企画グループ 99万円 (2,680万円) ▲

平成22年度当初予算書ページ：36・37

平成21年度に整備をした層雲峡地区の高速通信設備の管理などを行う事業です。

財源内訳	
ブロードバンド施設使用料	98万円
町の一般財源	1万円

※ ブロードバンドとは、光ファイバーやCATV(ケーブルテレビ)などの有線通信技術や、無線による加入者系データ通信サービス(FWA)などの無線通信技術を用いて通信速度が高速なインターネット接続サービスです。

(7) エネルギーの利用

26万円 (0万円) ▼

新エネルギーについては、「新エネルギー詳細ビジョン策定調査結果」に基づき、利用可能性の高いバイオマスエネルギーとBDF(バイオディーゼル燃料)について、既存施設活用の可能性調査などを行い、利用実現化に向けて取り組んでいきます。

また、エネルギー資源に乏しいわが国にとって重要な資源であります地熱エネルギーは、国においても積極的な開発、利用を推進していることから、現在凍結状態となっている「白水沢地区地熱開発」について、自然環境対策と地域の活性化も含め有効な利活用が図られるよう、国・道をはじめ関係機関に対して要請していきます。

白水沢地熱利活用調査事業 企画総務課企画グループ 26万円 (0万円) ☆

5. 郷土に誇りをもった心を育むまちづくり

2億192万円 (2億1,951万円) ○

生涯を通じ人間性豊かな創造性に富んだ人づくりのため、住民の学習意欲の向上を図りつつ、家庭・地域・学校との連携や福祉・産業などの多様な分野が有機的に結びついた生涯学習体制の確立に努めていきます。

地域内外との交流の拡大や歴史・文化遺産の保護・活用などを通じ、ふるさとへの誇りと愛着を醸成し、地域に根ざした生活・文化の創造を育み、情操豊かな地域文化の発展に努めていきます。

(1) 学校教育の充実

1億3,610万円 (1億4,432万円) ▲

創意ある教育課程の編成・実施や個人に応じたきめ細かな学習指導の充実を図り、学ぶ意欲を高め、主体的に学び、基礎的・基本的な学習内容を身につけさせ、確かな学力の向上を図っていきます。

また、施設整備では、安全・安心な学校づくりに向け、上川小学校耐震化等改修事業及び上川小学校グラウンド改修事業を実施していきます。

●中学校管理経費

教育委員会学校教育グループ 2,344万円 (2,285万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：104・105

上川中学校の燃料費などの維持管理経費です。ことしは、トイレの修繕や技術室の椅子(45脚)、ミシン(6台)の更新などを行います。

財源内訳	
ふるさと応援基金繰入金など	10万円
町の一般財源	2,334万円

●小学校管理経費

教育委員会学校教育グループ 2,248万円 (3,633万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：102・103

上川小学校の燃料費などの維持管理をする経費です。ことしは、遊具の修繕や高学年用の机(38台)、ポータブルワイヤレスマイクなどの購入などを行います。

財源内訳	
ふるさと応援基金繰入金など	2万円
町の一般財源	2,246万円



●学校給食センター運営管理経費

教育委員会学校教育グループ 2,135万円 (2,113万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：100・101

学校給食を提供するための臨時職員の賃金や給食センターの燃料費などの管理経費です。

財源内訳	
町の一般財源	2,135万円

●上川高等学校通学費等事業

教育委員会学校教育グループ 1,490万円 (1,346万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：108・109

上川高校に通学する生徒の保護者の負担軽減と間口対策のため、通学費などに対する補助を行う事業です。鉄道・バスの通学費は全額補助、下宿代は2分の1(上限月額3万円)を補助します。

財源内訳	
町の一般財源	1,490万円

●教員住宅建設事業

教育委員会学校教育グループ 950万円 (0万円) ☆

平成22年度当初予算書ページ：98・99

平成21年度に建設をした2棟6戸の教員住宅の建設費を教職員共済組合に返済をする償還金です。(平成31年度まで)

財源内訳	
公共施設整備基金繰入金	2,100万円
町の一般財源	-1,150万円

●放課後子ども環境整備事業

教育委員会学校教育グループ 720万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：100・101

学童保育センターの夏・冬休み期間や土曜日の開設に伴い、学校施設の管理運営上の安全性や効率性を確保するため、学童保育センター開設施設の整備を行う事業です。学童保育センター開設教室を1階(現コンピュータ室)に移設する工事を行います。

財源内訳	
道からの補助金	466万円
町の借入金	180万円

- **スクールバス運行経費** 教育委員会学校教育グループ 522万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：100・101

小学校、中学校への通学用のスクールバスの委託料などの運行経費です。

財源内訳	
町の一般財源	522万円

- **外国語指導事業** 教育委員会学校教育グループ 512万円 (457万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：98・99

児童・生徒に生きた英語に接する機会を提供し、英語教育の充実と国際理解教育の推進を図るための外国語指導助手（ALT）の配置に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	512万円

- **幼稚園就園奨励事業** 教育委員会学校教育グループ 493万円 (493万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：106・107

幼稚園教育の普及・充実と保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園に就園する幼児の保護者に対して保育料などの補助を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	123万円
町の一般財源	370万円



- **学童保育センター管理経費** 教育委員会学校教育グループ 452万円 (265万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：100・101

共働き家庭などの小学生の毎日の放課後の生活を守る施設が学童保育です。子どもたちにとっての放課後の生活の場、学童保育センターの管理運営経費です。平成21年度から夏・冬休み期間の開設を行いました、ことは土曜日の開設も行います。

財源内訳	
道からの補助金	162万円
傷害保険の保護者負担金	4万円
町の一般財源	286万円

- **要保護及準要保護児童生徒就学援助事業** 教育委員会学校教育グループ 404万円 (363万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：100・101

経済的な理由で就学が困難な状況にある児童や生徒の保護者に対し就学のため、学用品や学校給食費などの援助を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	1万円
町の一般財源	403万円

- **特別支援教育事業** 教育委員会学校教育グループ 397万円 (300万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：100・101、102・103、104・105

障がいのある児童や生徒の自立や社会参加に向け、児童や生徒一人ひとりの持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するための支援を行う事業です。

財源内訳	
国からの補助金	8万円
町の一般財源	389万円

- **中高一貫教育推進委員会事業** 教育委員会学校教育グループ 225万円 (225万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：104・105

中高一貫教育の推進を図るため、交付金を交付し、総合学習の推進や学力向上と資格取得の支援、生徒間交流と教員の資質の向上を図る事業です。

財源内訳	
町の一般財源	225万円

●教育委員会経費

教育委員会学校教育グループ 155万円 (156万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：98・99

教育の機会均等、教育水準の維持向上や地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう設置をされている教育委員会の委員報酬などの運営経費です。

財源内訳	
町の一般財源	155万円

●その他学校教育事業

町教育研究会事業	教育委員会学校教育グループ	75万円	(70万円)	○
事務局管理経費	教育委員会学校教育グループ	64万円	(60万円)	○
私立幼稚園管理運営事業	教育委員会学校教育グループ	58万円	(58万円)	◇
中体連出場事業	教育委員会学校教育グループ	48万円	(48万円)	◇
総合的学習等事業	教育委員会学校教育グループ	45万円	(52万円)	▲
部活動通学費事業	教育委員会学校教育グループ	40万円	(64万円)	▲
生徒指導推進協議会事業	教育委員会学校教育グループ	19万円	(18万円)	○
層雲峡小学校廃止に伴う交通費補助事業	教育委員会学校教育グループ	15万円	(0万円)	☆
上川高等学校教育振興対策協議会事業	教育委員会学校教育グループ	10万円	(10万円)	◇
中体連開催事業	教育委員会学校教育グループ	10万円	(8万円)	○
上川高等学校教育振興事業	教育委員会学校教育グループ	8万円	(8万円)	◇
町へき地複式教育研究連盟事業	教育委員会学校教育グループ	8万円	(8万円)	◇
公立学校事業	教育委員会学校教育グループ	5万円	(6万円)	▲
北海道地区中高一貫教育研究事業	教育委員会学校教育グループ	5万円	(5万円)	◇
義務教育振興管理経費	教育委員会学校教育グループ	153万円	(151万円)	○
上川中学校屋内体育館屋根張替及校舎防水工事	教育委員会学校教育グループ	0万円	(2,230万円)	▼

(2) 社会教育の推進

3,948万円 (4,089万円) ▲

住民が生涯にわたって学び続けることができる生涯学習を構築し、健やかに充実した生活を送ることができるよう社会教育・文化活動の充実と施設の整備を図っていきます。

また、平成22年3月で閉校となります層雲峡小学校の校舎の利活用については、文化施設などの使用を前提に具体的な取り組みを進めていきます。

●かみんぐホール管理経費

教育委員会社会教育グループ 2,388万円 (2,573万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：112・113

かみんぐホールの燃料費や休日や夜間の警備業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
かみんぐホール使用料など	125万円
町の一般財源	2,263万円

●図書管理経費

教育委員会社会教育グループ 467万円 (468万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：112・113

生涯学習の拠点施設としての図書室の運営に係る経費です。

財源内訳	
宝くじ交付金	207万円
町の一般財源	260万円

※ 宝くじ交付金は、オータムジャンボ宝くじの収益金を全国の市町村に対し、国際交流、芸術・文化の振興や少子高齢化対策など事業を推進するために交付されているものです。

●文化鑑賞等事業

教育委員会社会教育グループ 135万円 (135万円) ◇
 平成22年度当初予算書ページ：112・113

芸術文化に接する機会を設け、創造性や感性、鑑賞マナーを高め、芸術と文化の振興を図る文化鑑賞事業を進めるため、交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	135万円

●公民館管理経費

教育委員会社会教育グループ 108万円 (111万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：110・111

学級や各講座などの開催、生涯学習相談などを通して、身近に参加でき、学べる機会をつくり、一緒に仲間づくりや地域づくりをする公民館の運営に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	108万円

●文化講演事業

教育委員会社会教育グループ 100万円 (0万円) ☆
 平成22年度当初予算書ページ：112・113

各分野の第一線で活躍している著名人などの講演を通じて、町民の豊かな知性と感性の涵養するため文化講演会を開催する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	100万円

●その他社会教育事業

郷土資料室維持管理経費	教育委員会社会教育グループ	79万円	(79万円) ◇
図書購入事業	教育委員会社会教育グループ	50万円	(50万円) ◇
町民文化祭事業	教育委員会社会教育グループ	36万円	(36万円) ◇
文化協会事業	教育委員会社会教育グループ	28万円	(28万円) ◇
成人のつどい事業	教育委員会社会教育グループ	20万円	(20万円) ◇
上川町子ども会育成連絡協議会事業	教育委員会社会教育グループ	15万円	(15万円) ◇
生涯学習推進会議等事業	教育委員会社会教育グループ	10万円	(10万円) ◇
文化振興事業	教育委員会社会教育グループ	7万円	(7万円) ◇
コミュニティスクール運営事業	教育委員会社会教育グループ	7万円	(7万円) ◇
上川町生活学校運営事業	教育委員会社会教育グループ	3万円	(3万円) ◇
家庭教育学級運営事業	教育委員会社会教育グループ	2万円	(2万円) ◇
社会教育総務費管理経費	教育委員会社会教育グループ	476万円	(521万円) ▲
文化振興管理経費	教育委員会社会教育グループ	17万円	(17万円) ◇
上川町女性団体連絡協議会事業	教育委員会社会教育グループ	0万円	(4万円) ▲
青年団体連絡協議会運営事業	教育委員会社会教育グループ	0万円	(3万円) ▲

(3) 社会体育の推進

2,634万円 (3,430万円) ▲

生涯を通じてスポーツに親しみ、心もからだも健康であり続けるために、身近なところで気軽にスポーツを楽しめる機会の充実と施設の整備を図っていきます。

●総合体育館維持管理経費

教育委員会社会教育グループ 1,037万円 (1,286万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：114・115

総合体育館の燃料費や休日や夜間の警備業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
総合体育館使用料など	43万円
町の一般財源	994万円

●水泳プール維持管理経費

教育委員会社会教育グループ 426万円 (421万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：116・117

水泳プールの燃料費や管理業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
水泳プール使用料	2万円
町の一般財源	424万円

●中山スキー場維持管理経費

産業経済課商工観光グループ 355万円 (358万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：86・87

中山スキー場の管理業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	355万円



●町営球場維持管理経費

教育委員会社会教育グループ 173万円 (309万円) ▲
 平成22年度当初予算書ページ：116・117

栄町の町営球場の芝刈業務委託料などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	173万円

●スケート・カーリング場維持管理経費 教育委員会社会教育グループ 106万円 (103万円) ○
 平成22年度当初予算書ページ：116・117

総合グラウンドに設置をするスケートリンク場の維持管理を行う経費です。

財源内訳
町の一般財源 106万円



●その他社会体育事業

栄町パークゴルフ場維持管理経費	教育委員会社会教育グループ	87万円	(20万円)	○
体育館各種行事事業	教育委員会社会教育グループ	73万円	(74万円)	▲
体育協会運営事業	教育委員会社会教育グループ	46万円	(46万円)	◇
クロスカントリー維持管理経費	教育委員会社会教育グループ	46万円	(42万円)	○
チビッ子少年団活動事業	教育委員会社会教育グループ	43万円	(42万円)	○
スポーツ少年団活動事業	教育委員会社会教育グループ	16万円	(15万円)	○
上川町近隣町村少年野球大会参加事業	教育委員会社会教育グループ	3万円	(3万円)	◇
保健体育総務管理経費	教育委員会社会教育グループ	175万円	(172万円)	○
保健体育施設管理経費	教育委員会社会教育グループ	48万円	(31万円)	○
水泳プール改修事業	教育委員会社会教育グループ	0万円	(508万円)	▲

6. みんなで創る協働のまちづくり 9億1,627万円 (8億2,574万円) ○

まちづくりの主役は、そこに暮らす住民であり、住民の意思や意欲など、一人ひとりの持つ活力をいかし、安心して暮せるコミュニティの形成に向け、多様な主体が連携し、地域ニーズへの対応や身近な課題を解決する地域の取り組みを促進していきます。

また、住民活動に対応した柔軟できめ細かいサービスの提供と将来を見通した「持続可能な自治体運営の確立」を構築していきます。

さらに、他市町村との広域連携を推進し、行財政基盤の充実や住民の利便性向上に努め、情報を共有しながら、効果的なまちづくりをめざすため、住民とともに取り組む協働のまちづくりを進めていきます。

(1) 協働のまちづくり 327万円 (354万円) ▲

住民と行政の双方向による情報共有のシステムづくりに取り組み、広報・広聴活動の充実を図り、住民参画の場や機会の拡充を進め、住民と行政の協働によるまちづくりに取り組んでいきます。

●文書広報関係経費 327万円 (354万円) ▲
 企画総務課企画グループ
 平成22年度当初予算書ページ：34・35

広報「かみかわ」の作成と発行などに係る経費です。

財源内訳	
町史売払収入	2万円
町の一般財源	325万円

(2) 男女参画社会の推進 4万円 (4万円) ◇

男女が、社会の対等なパートナーとして様々な活動ができるよう「男女共同参画」の考えを基本に、まちづくりに取り組んでいきます。

また、配偶者からの暴力防止・被害者保護のため、情報収集など関係機関との連携を進めていきます。

●男女参画社会推進事業
ねっとわーく上川事業 4万円 (4万円) ◇
 企画総務課企画グループ

(3) コミュニティ活動の推進 261万円 (520万円) ▲

住民主体の豊かで活力ある地域社会を維持、発展させるため連携と相互補完に基づいた住民自治の形成を図っていきます。地域の課題を解決する「自助・共助・公助」の社会システムの形成を目指し、地域を自らささえる意識の醸成を図り、福祉、教育、環境などさまざまな分野で、住民と行政が連携・協働していくシステムづくりの調査研究を進めていきます。

●上川町公区交付金事業 240万円 (240万円) ◇
 企画総務課総務グループ
 平成22年度当初予算書ページ：34・35

町行政事務の円滑な運営と町民の意志反映を図るための自治組織、公区の活動に対し交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	240万円

●その他コミュニティ活動事業
上川町コミュニティ運動推進委員会事業 11万円 (11万円) ◇
スローフードを楽しむ会事業 10万円 (10万円) ◇
コミュニティ団体貸出用備品購入事業 0万円 (259万円) ▲
 企画総務課企画グループ

(4) 地域間・国際間交流の充実 347万円 (403万円) ▲

中心市となる旭川市と周辺町が役割分担を行い、相互に連携することにより圏域全体の活性化を図るための広域行政の新たな取り組みである「定住自立圏構想」について取り組んでいきます。

姉妹友好提携を結んでいるロッキーマウンテンハウス町との中高校生交流事業、ふるさと創生事業、ふるさと会など、国内外の人々との交流をまちづくりに活かし、国際化に対応する人材育成やまちづくり活動を推進していきます。また、北海道とカナダアルバータ州が姉妹友好30周年を迎えることから、記念式典などに参加するとともに、ロッキーマウンテンハウス町とのさらなる友好を深めていきます。

●ロッキーマウンテンハウス町訪問事業 300万円 (0万円) ☆
 企画総務課企画グループ
 平成22年度当初予算書ページ：30・31、32・33、36・37

北海道とカナダアルバータ州の姉妹友好30周年の記念式典にあわせ、ロッキーマウンテンハウス町との姉妹友好提携25周年の節目にロッキーマウンテンハウス町を訪問し友好を深める事業です。

財源内訳	
町の一般財源	300万円

●その他地域間・国際間交流事業

姉妹友好交流事業	教育委員会学校教育グループ	25万円	(400万円) ▲
上川町姉妹友好協会事業	企画総務課企画グループ	22万円	(3万円) ○

(5) 適切な行政の推進

1,988万円 (1,366万円) ○

行財政基盤の強化や個性豊かな地域社会の実現をめざし、行政運営構築という視点で改革を進め、地域主権型社会の担い手にふさわしい組織づくりや機能強化、人材の育成などに努めていきます。

行政改革の推進にあたっては、住民の意向を反映した運営の改善、事務事業の効率化に努め、住民サービスの適正化を図っていきます。

また、行政評価制度については段階的導入に向けて検討していきます。

●情報管理経費

企画総務課総務グループ 1,987万円 (1,365万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：32・33

電子計算機を利用した事務の合理化、庁舎内外の情報共有化や行政の効率化を図るための総合行政ネットワークシステム(職員の1人1台パソコンのネットワークシステム)や総合行政情報システム(住民基本台帳や町税などの管理システム)などの電算機器の管理や運営に関する経費です。

財源内訳	
町の一般財源	1,987万円



●その他適正な行政推進事業

情報公開審査会・個人情報保護審査会経費	企画総務課総務グループ	1万円	(1万円) ◇
---------------------	-------------	-----	---------

(6) 財政運営の健全化

8億8,700万円 (7億9,927万円) ○

国の示す地方財政計画による今後の動向を適切に捉え、財政健全化法の4指標を堅持していきます。

また、人件費、投資的経費、一般行政経費の各分野で抑制を図り、限られた財源を住民福祉の向上と持続可能な自治行政に効果的に活用し、歳入に見合った歳出を基本とした行財政の簡素・効率化と財政健全化に努めていきます。

●長期債元金

企画総務課財政グループ 7億5,016万円 (6億6,838万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：120・121

町が各事業の推進のため、借入をした借入金の元金の返済費用です。

財源内訳	
町営住宅使用料など	5,994万円
町の一般財源	6億9,022万円

●長期債利子

企画総務課財政グループ 1億1,932万円 (1億982万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：120・121

町が各事業の推進のため、借入をした借入金の利子の返済費用です。

財源内訳	
減債基金繰入金など	45万円
町の一般財源	1億1,887万円

●その他財政健全化事業

財政健全化償還金	企画総務課財政グループ	1,147万円	(1,177万円) ▲
減債基金費	企画総務課財政グループ	342万円	(338万円) ○
公共施設整備基金費	企画総務課財政グループ	130万円	(386万円) ▲
一時借入金利子	企画総務課財政グループ	100万円	(150万円) ▲
財政調整基金費	企画総務課財政グループ	29万円	(39万円) ▲
地域福祉基金費	企画総務課財政グループ	3万円	(11万円) ▲
奨学金等貸付基金費	企画総務課財政グループ	1万円	(3万円) ▲
ふるさと創生基金費	企画総務課財政グループ	0万円	(2万円) ▲
ふるさと応援基金費	企画総務課財政グループ	0万円	(1万円) ▲

7. その他管理経費等 12億4,981万円 (11億3,584万円) ○

(10) その他管理経費等 12億4,981万円 (11億3,584万円) ○

●職員給与費 企画総務課総務グループ 10億5,455万円 (9億4,778万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：32・33

町長をはじめとする町の職員の給料や手当などを支給する経費です。

財源内訳	
国からの委託金等	536万円
道からの委託金等	584万円
公営住宅使用料など	1,424万円
町の一般財源	10億2,911万円

●議会管理経費 議会事務局 4,237万円 (4,225万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：30・31

町議会議員の報酬や議会運営に係る経費です。

財源内訳	
町の一般財源	4,237万円

●行政管理経費 企画総務課総務グループ 2,800万円 (2,566万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：32・33

行政の執行にあたり各事業で計上している以外の行政全般に係る管理経費です。

財源内訳	
国からの補助金	3万円
コピー機などの印刷代	10万円
町の一般財源	2,787万円

●財産管理関係経費 企画総務課財政グループ 2,486万円 (2,310万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：34・35

町が所有する建物の修繕料や保険料、公共用に必要な土地の使用料などの管理経費です。

財源内訳	
建物・土地貸付料	1,127万円
町の一般財源	1,359万円

●車両管理関係経費 企画総務課総務グループ 2,153万円 (2,264万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：38・39

町が所有する公用車の燃料費などの管理経費です。

財源内訳	
道からの補助金	5万円
町の一般財源	2,148万円



●庁舎管理経費 企画総務課総務グループ 1,843万円 (1,678万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：34・35

役場庁舎の燃料費や夜間の警備委託などの維持管理を行う経費です。

財源内訳	
建物貸付料など	3万円
町の一般財源	1,840万円

●町税関係管理経費 税務住民課税務グループ 1,259万円 (1,302万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：42・43

町民税や固定資産税などの税金の課税や徴収を行う経費です。

財源内訳	
所得証明などの手数料	1万円
町の一般財源	1,258万円

●戸籍住民基本台帳管理経費 税務住民課住民グループ 1,219万円 (1,236万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：44・45

戸籍や住民基本台帳などの管理や各証明書などの発行を行う経費です。

財源内訳	
道からの交付金	1万円
住民票などの証明手数料	261万円
町の一般財源	957万円

●参議院議員選挙関係経費 企画総務課総務グループ 541万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：46・47

平成22年7月に実施をされる参議院議員選挙の執行に係る経費です。

財源内訳	
国からの委託金	541万円

●統計調査関係経費 企画総務課企画グループ 482万円 (77万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：50・51

国の指定統計調査などを実施する経費です。ことしは、5年に1度の国勢調査が行われます。

財源内訳	
道からの委託金	473万円
町の一般財源	9万円

●職員健康管理事業 企画総務課総務グループ 359万円 (389万円) ▲
平成22年度当初予算書ページ：34・35

職員の健康診断などを行う経費です。

財源内訳	
町の一般財源	359万円

●監査委員経費 議会事務局 280万円 (262万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：52・53

町の監査委員の報酬をはじめとする監査委員の活動経費です。

財源内訳	
町村監査委員協議会からの負担金	16万円
町の一般財源	264万円

●知事・道議会議員選挙関係経費 企画総務課総務グループ 248万円 (0万円) ☆
平成22年度当初予算書ページ：46・47

平成23年4月に実施をされる知事・道議会議員選挙の執行に係る経費です。

財源内訳	
道からの委託金	248万円

●企画関係経費 企画総務課企画グループ 99万円 (56万円) ○
平成22年度当初予算書ページ：36・37

町行政の総合的な企画調整を行う業務の経費です。

財源内訳	
道からの補助金	6万円
町の一般財源	93万円

●政務調査交付金事業 議会事務局 132万円 (132万円) ◇
平成22年度当初予算書ページ：30・31

議会議員の調査研究活動の費用に対して交付金を交付する事業です。

財源内訳	
町の一般財源	132万円

●その他管理経費等			
町長交際費	企画総務課総務グループ	70万円	(70万円) ◇
農業所得事務事業	税務住民課税務グループ	62万円	(62万円) ◇
諸費経費	企画総務課総務グループ	58万円	(60万円) ▲
町税過年度還付金	税務住民課税務グループ	50万円	(38万円) ○
選挙管理委員会経費	企画総務課総務グループ	48万円	(150万円) ▲
葬祭金	企画総務課総務グループ	38万円	(38万円) ◇
過年度過誤納還付金	企画総務課総務グループ	30万円	(10万円) ○
議長交際費	議会事務局	18万円	(20万円) ▲
原水爆禁止等世界大会参加事業	企画総務課総務グループ	8万円	(8万円) ◇
自衛隊協力交付金事業	企画総務課総務グループ	6万円	(6万円) ◇
予備費	企画総務課財政グループ	1,000万円	(1,000万円) ◇
衆議院議員選挙関係経費	企画総務課総務グループ	0万円	(549万円) ▼
上川地域活性化戦略プラン策定事業	企画総務課企画グループ	0万円	(200万円) ▼
町史編纂事業	企画総務課企画グループ	0万円	(98万円) ▼

合 計 42億5,800万円 (41億5,100万円)